カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

					2			F度 工業専門課程	(建築・デザイン学科) -				alle —L	\
専門・一般		年次	学期	科目区分	計 引 乙 分 们	<u>分</u>	無 自由選択	· 授業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	授業時数	単位数		業方演習	実験・実習
		1	前期	博	門	(建築設計製図 I A	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、木造建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。	60	4	0		
		1	後期	専	門	(建築設計製図IB	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	4	0		
		1	前期	専	門	(建築計画IA	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	60	4	0		
		1	後期	専	門	()	建築計画 I B	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	30	2	0		
		1	前期	専	門	(建築構造力学 I A	「建築力学の基礎概念である力・カのモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	0		
		1	後期	専	門	(建築構造力学IB	「建築力学の基礎概念である力・カのモーメント」「カのつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	0		
		1	前期	専	門	()	建築一般構造IA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	0		
		1	後期	専	門	()	建築一般構造IB	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	0		
		1	前期	専	門	(建築材料IA	建築材料のうち、構造材料である木材料、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	0		
		1	後期	専	門	(建築材料IB	建築材料のうち、構造材料である木材料、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	0		
		1	前期	専	門	(建築施工IA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	0		
		1	後期	専	門	(建築施工IB	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	0		
		1	前期	専	門	(建築法規IA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	0		
	建築士専攻	1	後期	専	門	(建築法規IB	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	0		
	建築CAD専攻	1	前期	専	門	(Photoshop•illustrator I A	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		0	
		1	後期	専	門	(Photoshop•illustrator I B	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		0	
		2	前期	専	門	(建築計画 II A	公共機関のうち教育施設(幼稚園、小中学校等)や外部空間、自然環境と建築の関係等を学ぶ	30	2	0		
		2	前期	専	門	(建築構造力学ⅡA	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構造の解析方法」について学ぶ	30	2	0		
		2	前期	専	門	(建築環境工学 II A	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う	30	2	0		
		2	前期	専	門	(建築設備 II A	建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	30	2	0		
		2	前期	専	門	(建築法規 II A	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	0		
		2	前期	専	門	(建築設計製図 II A	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 II A(製図)	1級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 II A(計画)	1級建築士の学科試験 I (計画)対策	30	1		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 II A(法規)	1級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	30	1		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 II A(構造)	1級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	30	1		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 Ⅱ A(施工)	1級建築士の学科試験 V (施工)対策	30	1		0	
		2	後期	専	門	(建築士対策 Ⅱ A(環境設備)	1級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	60	2		0	
		1	前期	専	門()		JWCAD I A	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		0	
	CADの知識習得		後期	専	門()		JWCAD I B	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		0	
	. 3		前期	専	門()		AutoCAD II A	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		0	
		2	後期	専	門()		AutoCAD II B	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		0	

1 前期 専門 建築図学IA 自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。 30 0 0 1 後期 専門 自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。 建築図学IB 30 建築士専攻科 0 2 前期 専門 専攻ゼミⅡA 計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。 60 2 0 計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。 0 2 後期 専門 専攻ゼミⅡB 60 2 1 後期 専門 0 BIMについての理解と関係ソフトの基礎的知識及び操作技術の向上を図る 2 BIM I A 60 0 1 | 前期 | 専門 | |建築設計や建築生産に必要な三次元図面の制作技術を通して、多角的な設計技術などを学ぶ 30 3DCAD I A 建築CAD専攻科 2 前期 専門 0 BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る 60 2 BIM II A 専門 0 2 後期 専門 BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る 60 BIM II B 2 後期 専門 〇 0 45 机上で学んだことを現場で実践する インターンシップIA 実務研修による 現場能力の習 0 2 後期 専門 〇 机上で学んだことを現場で実践する |インターンシップ Ⅱ A 45 測量に関する法規・国際条約 I 「測量法」「測量法施行令」「測量法施行規則」に関する知識、基本測量、公共測量、基本測量及び公共測量以外の測量について学ぶ 1 前期 専門 2 0 30 1 前期 専門 測量に関する数学IA 0 関数とグラフ、指数と対数、三角関数、ベクトル、微分法、積分法、行列について学ぶ 30 2 1 前期 専門 測量学概論IA 測量・地図発達の歴史、わが国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、地球の物理と測量及び最新の測量技術を学ぶ 30 2 0 測定器械、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角、距離の測定、平面直角座標計算、測量の成果について学ぶ 1 前期 専門 三角測量IA 30 2 0 1 前期 専門 2 0 水準測量IA 水準測量の概要および作業計画・準備、測定機器、観測、誤差、計算と成果表等の整理、作業管理について学ぶ 30 1 前期 専門 0 一般理論、細部図根点測量、細部測量、測量原図の調整、数値地形測量等について学ぶ 0 地形測量IA 30 2 前期 専門 地図編集IA 2 0 地図の分類、地図投影法、地形図読図、基図、編集における取捨選択、総描、転位、GISの概念等について学ぶ 30 1 後期 専門 測量に関する情報処理 I A |コンピュータシステム、ソフトウェア・ハードウェアの基礎、測量計算・地図情報処理などコンピュータによる解析作業を学ぶ 30 0 2 測定器械(トータルステーション及び汎地球測位航法衛星システム(GNSS)を含む)、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角・天文方位角の観測、距離の測定、平面直角座標計算、三角・多角網平均計算 2 1 後期 専門 30 0 0 多角測量IA (観測方程式法を含む)、測量の成果表について学ぶ 1 後期 専門 汎地球測位システム測量IA 衛星測位システムの概念、GNSS測量の観測方式、観測法と解析方法について修得する。 0 30 2 1 後期 専門 写真測量 I A ー般理論、航空カメラ、図化機、標定点測量、空中写真測量、リモートセンシング、数値図化等について学ぶ 30 2 0 路線測量計画概論、中心線測量、曲線設置、現況測量、用地測量、縦横断測量、工事測量土量計算、河川測量計画概論、距離標の測量、河川縦横断測量、深浅測量、汀線測量、流速流量の 1 後期 専門 30 2 0 0 応用測量IA 測定等について学ぶ インターネット活用手段、属性データ作成のエクセル利用、GISソフトの操作方法とおよび利用する地図データについて投影法や座標系を理解させる。総合演習でGISソフトを使いこなす技術を修 1 後期 専門 0 30 2 0 地理情報システム I A 1 前期 専門 0 土木一般IA 施工計画のための調査と環境アセスメント、設計と積算、施工と施工管理、品質管理、資材管理、労務管理など、土木施工に関する実践的技術を修得する。 30 2 0 1 前期 専門 30 2 0 専門土木IA 安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。 1 前期 専門 土木施工法規IA |建設業に関する「労働基準法」「労働安全衛生法」「建設業法」を軸に、土木施工管理技士に関する土木法規を学ぶ 30 2 0 測量士専攻科 1 前期 専門 0 共通工学IA 30 2 0 契約・設計・電気・測量においての基礎的な知識を学ぶ 0 0 1 前期 専門 施工管理法IA 工程管理」「安全管理」「品質管理」「原価管理」などの各種工事と材料、構造等を通して「施工管理」のポイントを学ぶ 30 2 測量士試験対策 II A(法規・国際 測量士試験に向けて法規・国際条約についての対策を行う 2 前期 専門 30 0 条約) |測量士試験対策 II A(多角測量) |測量士試験に向けて多角測量についての対策を行う 2 前期 専門 30 0 測量士試験対策ⅡA(GNSS測 測量士試験に向けてGNSS測量についての対策を行う 0 2 前期 専門 30 2 前期 専門 0 0 |測量士試験対策 II A(水準測量) |測量士試験に向けて水準測量についての対策を行う 30 |測量士試験対策 II A(地形測量) |測量士試験に向けて地形測量についての対策を行う 2 前期 専門 30 0 2 前期 専門 30 0 |測量士試験対策ⅡA(写真測量)|測量士試験に向けて写真測量についての対策を行う 0 2 前期 専門 30 |測量士試験対策ⅡA(地図編集)|測量士試験に向けて地図編集についての対策を行う 0 2 前期 専門 0 |測量士試験対策 II A(応用測量) |測量士試験に向けて応用測量についての対策を行う 30 測量士試験対策ⅡA(地理情報 測量士試験に向けて地理情報システムについての対策を行う 0 2 前期 専門 30 システム) 2 後期 専門 0 測量士試験対策ⅡA(総合) 30 0 |測量士試験に向けて総合的な対策を行う 2 後期 専門 0 測量士試験対策ⅡB(総合) 30 0 測量士試験に向けて総合的な対策を行う 1 後期 専門 0 0 |土木施工対策 I A(土木工学等) |土木施工管理技士試験に向けて土木工学等の対策を行う 30 1 後期 専門 |土木施工対策 I A(施工管理法) | 測量士試験に向けて施工管理法についての対策を行う 30 0 0 1 後期 専門 0 土木施工対策 I A(法規) 測量士試験に向けて土木法規についての対策を行う 30

		1	前期	専門	0		課題解決学習IA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場においての課題調査、研究、提案を行う	30	1		0		
	地域連携による課題解決力習	1	後期	専門	0		課題解決学習IB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場においての課題調査、研究、提案を行う	30	1		0		
	得	2	前期	専門	0		課題解決学習ⅡA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場においての課題調査、研究、提案を行う	30	1		0		
		2	後期	専門	0		課題解決学習ⅡB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場においての課題調査、研究、提案を行う	30	1		0		
		1	前期	一般	:	С	表現力IA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		0		
		1	後期	一般	:	С	NIB I A	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		0		
		1	前期	一般	:	С	キャリア支援IA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	でや早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ 30					
		1	後期	一般		С	キャリア支援 I B	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ 30					
	一般科目	2	前期	一般	1	С	キャリア支援 II A	対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ 30				0		
		2	後期	一般	:	С	キャリア支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		0		
一般		1	前期	一般	:	С	データマーケティング I A	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身 つけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	·I= 30	1		0		
		1	後期	一般	:	С	データマーケティング I B	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身 つけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	·I= 30	1		0		
		2	前期	一般	1	С	データマーケティング II A	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		0		
		2	前期	一般	0		ICT演習 II A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		0		
	コンピュータ知	2	後期	一般	0		ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		0		
	識	2	前期	一般	0		ICT活用ⅡA	VR技術を用いたプレゼンテーション技法の向上を図る 30				0		
		2	後期	一般	0		ICT活用ⅡB	VR技術を用いたプレゼンテーション技法の向上を図る	30	1		0		
	合計 91 科目 3210 単位時間					14	16	単 位)						

授業期間等

期

週

2

15

1 学年の学期区分

1 学期の授業期間

卒業要件及び履修方法	
卒業要件: 85単位取得 GPA 2. O以上 必修科目を取得していること 選択必修科目: 【建築士専攻】「建築設計製図 I A」「建築設計製図 I B」「建築計画 I A」「建築計	1
選択必修符日:【建業工等以】「建業設計製図IA」「建業設計製図ID」「建業計画IA」「建業計 画IB」「建築構造力学IA」「建築構造力学IB」「建築一般構造IA」「建築一般構造IB」「建築	
材料IA」「建築材料IB」「建築施工IA」「建築施工IB」「建築法規IA」「建築法規IB」	
「Photoshop・illustrator I A」「Photoshop・illustrator I B」「建築計画 Ⅱ A」「建築構造力学 Ⅱ ┃	İ
A」「建築環境工学 II A」「建築設備 II A」「建築法規 II A」「建築設計製図 II A」「建築士対策 II A (製	İ
図)」「建築士対策ⅡA(計画)」「建築士対策ⅡA(法規)」「建築士対策ⅡA(構造)」「建築士対策Ⅱ	İ
A(施工)」「建築士対策 II A(環境設備)」「建築図学 I A」「建築図学 I B」「専攻ゼミ II A」「専攻ゼ	İ
I I A	İ
または【建築CAD専攻】「建築設計製図IA」「建築設計製図IB」「建築計画IA」「建築計画IB」	İ
「建築構造力学IA」「建築構造力学IB」「建築一般構造IA」「建築一般構造IB」「建築材料I	İ
A」「建築材料IB」「建築施工IA」「建築施工IB」「建築法規IA」「建築法規IB」	İ
「Photoshop・illustrator I A」「Photoshop・illustrator I B」「建築計画 II A」「建築構造力学 II	İ
A」「建築環境工学IIA」「建築設備IIA」「建築法規IIA」「建築設計製図IIA」「建築士対策IIA(製	İ
$ \mathbb{Z} \mathbb{Z}$	İ
A(施工)」「建築士対策ⅡA(環境設備)」「3DCADIA」「BIMIA」「BIMⅡA」「BIMⅡB」	İ
または【測量士専攻】	İ
はたは『無量工等な』 「測量に関する法規・国際条約ⅠA」「測量に関する数学ⅠA」「測量学概論ⅠA」「三角測量ⅠA」	İ
「水準測量IA」「地形測量IA」「地図編集IA」「測量に関する情報処理IA」「写真測量IA」	İ
	İ
│「応用測量 I A」「地理情報システム I A」「土木一般 I A」「専門土木 I A」「土木施工法規 I A」	İ
「共通工学IA」「施工管理法IA」「測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)」「測量士試験対策Ⅱ	İ
A(多角測量)」「測量士試験対策IIA(GNSS測量)」「測量士試験対策IIA(水準測量)」「測量士	İ
試験対策ⅡA(地形測量)」「測量士試験対策ⅡA(写真測量)」「測量士試験対策ⅡA(地図編	İ
集)」「測量士試験対策IIA(応用測量)」「測量士試験対策IIA(地理情報システム)」「測量士	İ
試験対策ⅡA(総合)」「測量士試験対策ⅡB(総合)」「土木施工対策ⅠA(土木工学等)」「土木	ı
施工対策IA(施工管理法)」「土木施工対策IA(法規)」のいずれかを取得していることとす	ı
る。	İ

科 目 名 | 建築設計製図 I A 学期 期 前 科目区分専門 担当教員 伏間 崇太郎 |授業方法|講義 厦修分为選択必 単位数 4 学習目的 二級建築士設計製図の範囲を学び、基本的な作図ができるようになる。 授業内容 | 製図道具の使い方、線の書き方を習得し、建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。 製図道具の使い方を理解し、使用することが出来るようになる。 各構造の一般図の種類と表現方法・内容が説明できる。 製図の基本に則して配置図及び平面図を作図することができる。 学習目標 製図の基本に則して断面図及び立面図を作図することができる。 製図の基本に則して矩計図を作図することができる。 使用テキスト令和4年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト 週数 授業計画 事前・事後の学習 1 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 1-2 製図を始める前に 【事後】課題は次の授業まで終わせること 2 3 【事前】|テキストの該当範囲を読んでおくこと 木造軸組み工法について 4 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】「テキストの該当範囲を読んでおくこと 5 2-1-1~2-2-1 木造の専用住宅、併用住宅 6 【事後】課題は次の授業まで終わせること 7 【事前】」テキストの該当範囲を読んでおくこと 2-3-1~2-3-2 木造の要求図書~配置図、各階平面図の描き方 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 9 2-3-3 木造の立面図の描き方 2-3-4 木造の断面図の描き方 10 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 11 2-3-5 木造の2階床伏図兼1階小屋伏図の描き方 12 【事後】課題は次の授業まで終わせること 13 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 2-3-6 木造の部分詳細図の描き方 14 【事後】課題は次の授業まで終わせること 15 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと -級建築士過去標準回答例とレース(木造) 【事後】課題は次の授業まで終わせること 16 17 【事前】「テキストの該当範囲を読んでおくこと 3-1-1~3-3-2 鉄筋コンクリート造の図面の構成作図~要求図書

18	配置図、各階平面図の描きる	方	【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
19	3-3-3 鉄筋コンクリート造の		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
20	3-3-4 鉄筋コンクリート造の	断面図の描き方	【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
21	3-3-5 鉄筋コンクリート造の	部分詳細図の描き方	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
22		でいり 計画図 ジョョング	【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
23		ラーメン構造、配置図各階平面図の描	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
24	き方		【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
25	4-2-3 鉄骨造の立面図の指		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
26	4-2-4 鉄骨造の断面図の指	き方	【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
27	4-2-5 鉄骨造の矩計図の描	** 	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
28	420 数月返のたい区の指	4C /J	【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
29	建築模型製作		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
30	姓木快主表 [F		【事後】	課題は次の授業まで終わせること							
	評価項目/割合		評価	内 容							
	1. 課題 70%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況									
評価	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マラ 夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物		Fか、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自らエない、以上の観点から評価							
基準	3. テストその 0 %	確認テスト、期末テストより評価									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目検定課授実施											
予 定·											

					7 9 1 2				2十 床往				+	
科目	名	建築設訂	十製[図 I B							学期	後	期	
担当	教員	伏間	崇	太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	夏修分 類	選択必	単位数		4	
学習	目的	二級建築	桑士 詞	設計製	図に対応	できる	力を身に着	計ける。						
授業	内容	二級建筑	& 士言	設計製	図の範囲	を実践	する。							
学習	目標						対策を学 <i>。</i> 要点記述を		!できるよ	うになる	0			
使用テ	・キスト	2級建築 ※適宜フ				設計類	型 TAC	、前期テキ	・スト					
週数					授業計	画			事前・事後の学習					
1	2級強	҈҈数十設計	上制区	可試驗地	· 典• 時間	告理生.	作図練習		【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	ځ	
2	∠ IIVX X∃	- 木 土	· 衣区	当日代河次1岁	1.女 时间	64寸	1下四水日		【事後】課題は次の授業まで終わせること					
3	=田 旦百	課題1 読み取り・エスキスプロセス							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	たんでおく	_F	
4	課題1 読み取り・エスキスプロセス						【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせること	<u>.</u>			
5	課題1 作図・要点記述					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	ーーー					
6	林	· TF凶 * 5	作凶• 安点記述						【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせること	=	
7	章田 旦石。	2 読み取	7 [.] - -	- フ + っ	プロムフ				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	ーーー		
8	林 理	∠	、ツ・ユ 	-ヘ イ 人	ノロセ 人				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせること	=	
9	= 甲里百·	2 作図• •	亜 占:						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	ح	
10	体理	4 TF凶":	女尽	记处					【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせること	=	
11	= 甲里百·	3 読み取	7 [.] -	-フセフ	プロチフ				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	٤_	
12	体理	5	、ツ・ユ 	-ヘ イ 人 	ノロセ 人 				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせること	=	
13	章田 旦石。	o #=™ -	西上:	======================================					【事前】	テキスト	の該当範囲を読		_ح	
14	課題3 作図・要点記述					【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせること	=				
15	=8 8중	T-							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
16	誄越	[4 読み取り・エスキスプロセス						【事後】課題は次の授業まで終わせること						
17	는데 모두							【事前】	テキスト	の該当範囲を誘	もんでおく	_ _		
18	誅趄·	頭4 作図・要点記述					【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせること	:			
										ļ				

19	課題5 読み取り・エスキスス	Ĵ⊓₩Z	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
20	休返し 別のが扱う エハイハン	7167	【事後】	課題は次の授業まで終わせること
21	課題5 作図・要点記述		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
22	床處O 下內·安点配应		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
23	課題6 読み取り・エスキスス	î⊓+7	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
24	床題O 読の取りエヘイへ)	, a e A	【事後】	課題は次の授業まで終わせること
25	課題6 作図・要点記述		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
26	床處O FA 安点配应		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
27	課題7 読み取り・エスキスス	în+7	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
28	味趣/ 読み取りエスキスノ	, u v A	【事後】	課題は次の授業まで終わせること
29	细胞, 作 网 . 带 上		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
30	課題7 作図・要点記述		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
	評価項目/割合		評価	内 容
	1. 課 題 70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況		
評価 基	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マラ 夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物		子か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自らエない、以上の観点から評価
準	3. テストその 0 %	確認テスト、期末テストより評価		
	課題・テスト(その他検定など)はそれ	れぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目検定課授実予				
定・				

科目名 建築計画 IA 学期 前 期 科目区分専門 伏間 崇太郎 担当教員 授業方法講義 厦修分类選択必[。] 単位数 4 学習目的 二級建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。 授業内容 | 二級建築士の建築計画を学ぶ。特に計画原論(環境工学)、建築設備、計画各論(一部)。 学習目標 |二級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。 2級建築士学科 新体系テキスト計画、コンパクト建築設計資料集成、建築ガイダンス初めて建築を学ぶ 使用テキ 人のため スト ※適宜プリント配布 事前・事後の学習 週数 授業計画 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 1 1-1 気候·空気 2 【事後】課題は次の授業まで終わせること 3 【事前】「テキストの該当範囲を読んでおくこと 1-2 熱 4 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 5 1-3 光 6 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 7 1-4 音 8 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 9 1-5 色彩 1-6 計画原論 用語•単位 10 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 11 確認テスト① 12 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】 テキストの該当範囲を読んでおくこと 13 2-1 空調機械設備 14 【事後】課題は次の授業まで終わせること 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 15 2-2 給水設備 【事後】課題は次の授業まで終わせること 16 【事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと 17 12-2 排水・街牛設備

全部テスト② -4 電気・照明設備① -4 電気・照明設備②		【事前】 【事後】 【事前】 【事後】	課題は次の授業まで終わせること テキストの該当範囲を読んでおくこと 課題は次の授業まで終わせること テキストの該当範囲を読んでおくこと 課題は次の授業まで終わせること ま題は次の授業まで終わせること テキストの該当範囲を読んでおくこと
-4 電気・照明設備①		【事後】 【事前】 【事後】 【事前】	課題は次の授業まで終わせること テキストの該当範囲を読んでおくこと 課題は次の授業まで終わせること
-4 電気・照明設備①		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと 課題は次の授業まで終わせること
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
		【事前】	
-4 電気・照明設備②			テキストの該当範囲を読んでおくこと
-4 电XI-照明改用区		F + 44 3	
		【 事 後】 	課題は次の授業まで終わせること
_5、当小。防然恐借		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
3 用人 例外改幅		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
−6 環境・省エネルギー		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
−7 建築設備		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
≠=刃ニフト②		【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
EDIO J ATO		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
評価項目/割合		評価	内 容
1.課題 20%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況	1	
3. テストその 50 %	確認テスト、期末テストより評価		
課題・テスト(その他検定など)はそれ	でれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
	-7 建築設備 :認テスト③ 評価項目/割合 1. 課 題 20 % 2. 授業姿勢 30 % 3. テストその 50 %	-6 環境・省エネルギー -7 建築設備 記示スト③	-5 消火・防災設備 「事後】 -6 環境・省エネルギー -7 建築設備 「事後】 「事価項目/割合 1. 課題 20 % ② 投業姿勢 30 % 1. では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で

1 √ □	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								फ़र 11 0	14	₩n			
科目担当		整計画 I B - 伏間 崇太郎	科目区分専門		授業方法言	講義	蛋修分 ₹	選択必	学期 単位数	後	期 2	-		
		- 大同 宗太宗 			汉朱刀丛。	HT 7%	友 多 刀 ス	运 1八亿	平位奴					
授業	内容 2;	級建築士の建築	計画を学ぶ。特	寺に	計画各論、	建築史。 ———								
学習	目標 2	級建築士の試験	内容を学び理例	解す	する。									
使用テ	キスト資	級建築士学科 資料集成、建築力 ・適宜プリント配	イダンス初めて				築の歴	史 西洋	∶•日本•近代、∶	コンパクト	建築設	計		
週数			授業計画						事前・事後の特	学習				
1	3−1 년	主宅建築					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ			
							【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること				
2	3-2 鵞						【事前】	テキスト	トの該当範囲を読んでおくこと					
							【事後】	課題は炎	次の授業まで終わせること					
3	確認テ	スト①					【事前】] テキストの該当範囲を読んでおくこと						
							【事後】	課題は炎	欠の授業まで終	わせること				
4	3-3 戈	て化施設							の該当範囲を読					
									欠の授業まで終え					
5	3-4	 收育施設							の該当範囲を読					
									欠の授業まで終? 					
6	3•5 ∄	医療∙福祉施設							の該当範囲を読 欠の授業まで終え					
									の該当範囲を読	-				
7	確認テ	スト②							の					
									の該当範囲を読	-				
8	3-6 名	外部計画							次の授業まで終					
								テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ				
9	3-6 名	外部計画					【事後】	課題は炎	欠の授業まで終	わせること				
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ:			
10	確認テ	スト③					【事後】	課題は次	次の授業まで終わ	わせること				
44	0 7 7	****					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
11	3-/ 妲	建築生産					【事後】	課題は炎	欠の授業まで終わ	わせること				
12	3-2 #	8市計画		_			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
12		15.115日1 四	_		_		【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること				
		十画各論 用語		_			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
13	4 3	建築史 					【事後】	課題は炎	欠の授業まで終	わせること				
14	4 3	建築史					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
'	. *						【事後】	課題は次	次の授業まで終	わせること				
15	確認テ	スト③					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
									欠の授業まで終	わせること				
	4 ₹#	評価項目/割合	授業中の課題	、授	業後課題の内容	と取組状況	評価	M 容				\dashv		
評価	1. 課 ——— 2. 授	題 20 % ————— 業姿勢 30 %			いか、②私語が 参加しているか				中によく聞き、メモ、 見点から評価	質問、発言な	ば自らエ	厂夫		
基準		ストその 50 %	確認テスト、期			J.J., 10 M.C.			w H I IMM					
		テスト(その他検定など)	 はそれぞれ20% 以上と	し、技	受業姿勢は30%と	する。								
目検 定課授実標 光業施														
予 定•														

科目	名	建築構造力学 I	Α					学期	前	期		
担当	教員	伏間 崇太郎	邶 料	目区分専門	授業方法講義	夏修分类	選択必	単位数		2		
学習	目的	二級建築士建築	陸構造(力学)の範囲	囲を学び、構造力学	の基本を理	里解する	0				
授業	内容	二級建築士の様	 造力学	学を学ぶ。特	に力のつり合い、反	力、応力((部材に生	生じる力)、トラ	ス等。			
学習	目標	二級建築士の様	構造の 詞	式験内容を覚	ざび理解する。							
使用テ		2級建築士学科 ※適宜プリント酉		系テキスト樟	造							
週数			授	養業計画				事前・事後の	学習			
1	0 ‡	基礎数学テスト				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u> と		
'	0 2	を促めてアスト				【事後】	課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
	1-1 ; 1-1-1	カのつり合い				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	きんでおくこ	<u>-</u> と		
. – .		! モーメント				【事後】	】課題は次の授業まで終わせること					
3		カの合成と分解	7 4			【事前】	テキスト	<u>-</u> Ł				
	1-1-4	カのつり合い				【事後】	課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
		ら 構造物に働く力		過重)			テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u> _5		
	1-2-1	構造物のモデル	<i>ν</i> 16			【事後】	課題はど	次の授業まで終	わせること	:		
5	確認力	テスト①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	きんでおくこ	<u>-</u> と		
						【事後】	課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
	1-2 1-2-2	反力 ! 支点と反力				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	٤-		
	1-2-3	る構造物の種類 				【事後】	課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
		- 反力の求め方 -1 基本				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u> _5		
	1-2-4						課題は次	次の授業まで終	わせること	:		
8	1-2-4	├-3 鉛直反力の分	公式				テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u> _5		
							課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
9	 片持ち	5梁の反力 トラス	スの反力	1		【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u>		
						【事後】	ままで終わせること					
10	静定于	ラーメンの反力				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおくこ	٢٤		
						【事後】	課題は炎	次の授業まで終	わせること	:		
11	確認力	テスト②				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u> 'E		
						【事後】	課題は次	次の授業まで終	わせること	:		
12		応力の種類 ! 応力の求め方	基本			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	<u>-</u>		
								欠の授業まで終				
13	1-3-2	! 応力の求め方	応用					の該当範囲を読				
								欠の授業まで終				
14	1-3-3	; 応力図				1 1 11 12		の該当範囲を読				
								欠の授業まで終				
15	確認力	テスト③						の該当範囲を読				
		評価項目/割合	<u> </u>			事後】		欠の授業まで終	わせること	:		
	1. 諍	果題 20 %	授	後業中の課題、接	業後課題の内容と取組り							
評価基	2. 授	受業姿勢 30 %	L	積極的に授業に	ないか、②私語がなく受講 参加しているか ④忘れ				質問、発言7	など自ら工夫		
準		·ストその 50 %		『認テスト、期末・								
目標検	課題	・テスト(その他検定など	:)はそれそ	*れ20%以上とし、	授業姿勢は30%とする。							
定· 課外												
授業 実施 定・												
ァ 定・												

		ァザイン 字科		2年課程			. 1	华 ————		
科目	名 建築構造力学 I B					学期	後	期		
担当	教員 伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法講	轰 厦修分 类	選択必何	単位数		2		
学習	目的二級建築士建築構造	(力学)の範囲	を学び、基本的	な構造力学が	理解出来	きるようになる。				
授業	内容 二級建築士の構造力	学を学ぶ。特に	上座屈、応力度 [:]	等。						
学習	目標 二級建築士の試験内	容を学び理解す	する。							
吏用テ	キスト 2級建築士学科 新体 ※適宜プリント配布	本系テキスト構造	<u>#</u>							
週数		授業計画				事前・事後の学	智			
1	前期の復習			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>		
				【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
2	1-4 トラス			【事前】	テキストの	の該当範囲を読んでおくこと				
_				【事後】	課題は次の授業まで終わせること					
3	1-4-2-1 切断法			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>		
3	1 1 2 1 9]8 []A			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
4	1-4-2-2 図解法			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>		
4	. 7 4 4 凶胜広			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	わせること			
5	確認テスト①			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこん	<u> </u>		
5	1性心 / ヘド①			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	わせること			
•	4 F 4 N/F - 75 - 75			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>		
6	1-5-1 断面一次モーメント			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
7	d - a blor a b			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>		
7	1-5-2 断面二次モーメント			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
	and the second s			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>		
8	1-5-3~1-5-5 断面係数~局	削度と削比		【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
•	4 6 45 12			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>		
9	1-6 座屈			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	わせること			
10	T# 57 = -1 @			【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	 <u>-</u>		
10	確認テスト②			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
			_	【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>		
11	1-7-1~1-7-3 応力度の種類	溴~せん断心力♪		【事後】	課題は次	の授業まで終れ	わせること			
				【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>		
12	1-7-4 曲げ応力度			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
, -				【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	 <u>-</u>		
13	1-7-5 許容応力度			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
				【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	 <u>-</u>		
14	1-7-6、1-7-7 部材の変形、権	講造力学で用いる	6単位·用語	【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
				【事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	 <u>-</u>		
15	確認テスト③			【事後】	課題は次	の授業まで終れ	りせること			
	評価項目/割合	授業中の課題、授	業後課題の内容と取		内 容					
評	1. 課題 20 %	①欠席や遅刻はな	いか、②私語がなく	受講マナーは良好が			質問、発言など	ど自ら工夫し		
価 基 準	2. 授業姿勢 30 %		加しているか ④忘	れ物をしていない、↓						
	3. テストその 50 % 課題·テスト(その他検定など)はそれ	 ・ぞれ20%以上とし、授	受業姿勢は30%とする 。	·						
目標 検										
定• 課外 授業										
実施 予										
ァ 定•										

科目	1名	建築一般	投構造 I A								学期	前	期			
担当	—— 教員	伏間	計 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	法講義	夏 條	多分类	選択必	単位数		2			
学習	目的	二級建築	築士建築構造	(建築一	·般構進	5)の範囲	を学び、	建築一	般構	造の基本	本を理解する。					
授業	内容	二級建築	築士の建築-	・般構造る	を学ぶ。	特に荷重	重•外力、	、構造計	一画、	地盤・基	礎、木造等。					
学習	目標	二級建領	築士の試験内	容を学び	が理解?	ける。										
使用テ	・キスト		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本系テキ	スト構造	造、										
週数				授業計画	<u> </u>						事前・事後の等	 学習				
4	0 1	荷重·外	+ ①					[§	事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٢			
1	2-1	何里。クトン))(I)					[=	事後】	課題は次	マの授業まで終っ	わせること				
		# .	1.0					[=	事前】テキストの該当範囲を読んでおくこと							
2	2-1	荷重・外ス	刀(2)					[=	事後】課題は次の授業まで終わせること							
		#						[§	事前】	Ţ】テキストの該当範囲を読んでおくこと						
3	2-1	荷重・外ス	力(3)					[=	事後】	課題は次	マの授業まで終	わせること				
	_,							[=	事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	٤			
4	催認 [.]	テスト①						[=	事後】	課題は次	マの授業まで終わ	わせること				
								[=	事前】	テキストの	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
5	2-2	構造計画	I(1)					[=	事後】	課題は次	マの授業まで終わ	わせること				
								[=	事前】	テキストの	の該当範囲を読	したかくこ	٤			
6	2–2	構造計画	Ī ②					[=	事後】	課題は次	マの授業まで終わ	わせること				
									事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
7	2-2	構造計画	構造計画③							課題は次	マの授業まで終っ	わせること				
	0.0	2 その他の構造計画						Ţ.	事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
			の構造計画」な構造種別					[=	事後】	課題は次		わせること				
								[§	事前】	テキスト(の該当範囲を読		٤			
9	確認·	テスト②							事後】	課題は次		わせること				
									事前】	テキスト	の該当範囲を読		ځ			
10	2-3	地盤•基础	楚①						事後】	課題は次		わせること				
											の該当範囲を読		٤			
11	2-3	地盤•基礎	楚②								ての授業まで終え					
											の該当範囲を読		٢			
12	2-4	木造①									マの授業まで終え					
											の該当範囲を読					
13	2-4	木造②									ア					
											、 の該当範囲を読		٢			
14	2-4	木造③									ハ酸ヨ戦団を励 		_			
											の該当範囲を読		<u>,</u>			
15	確認·	テスト									の授業まで終;		_			
		評価項	目/割合							内容	、い!又木よじ於 /	1/E OLC				
⊕ar:	1.	課 題	20 %			業後課題の[
評価基	2. 排	受業姿勢	30 %	積極的に持	受業に参	加しているか	か ④忘れ物			か、③授業中 以上の観点	Pによく聞き、メモ、! から評価	質問、発言な	ど自ら工夫し			
基 準		テストその				ストより評価			_							
目標	課題	夏・テスト(その)他検定など)はそれ	いぞれ20% 以	(上とし、授	業姿勢は309	%とする。									
検 定・ 課外																
授業 実施																
予 定•																

科目	名	建築一般	·構造 I B					学期	後	期			
担当教	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法講義	夏修分 数	選択必	単位数		2			
学習目	目的	二級建築	士建築構造	≛(一般構造) <i>の</i>)範囲を学び、一般	と構造の基準	本を理解	はする。					
授業四	内容	二級建築	士の一般権	構造を学ぶ。特に	こ鉄筋コンクリート	·造、壁構造	5、鉄骨道	告等。					
学習目	目標	二級建築	士の試験内	内容を学び理解	する。								
使用テ	キスト	2級建築: ※適宜プ	士学科 新ゲリント配布	体系テキスト構	造								
週数				授業計画			Ι	事前・事後の学	学習				
1 :	2-5	鉄筋コンク	ツート造①			【事前】	前】テキストの該当範囲を読んでおくこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
2	2-5	鉄筋コンク	リート造②										
							注】課題は次の授業まで終わせること 						
3	2-5	鉄筋コンク	リート造③										
								欠の授業まで終っ					
4	2-5	鉄筋コンク	リート造④					の該当範囲を読					
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終っ	わせること	:			
5	2-6	壁構造①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
6	2-6	壁構造②				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終っ	わせること	:			
7	確認-	テスト①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ				
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
8	2-7	鉄骨造①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
9	2-7	鉄骨造②				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
10	2-7	鉄骨造③				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤_			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
11	2-7	鉄骨造④				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤_			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
12	確認-	テスト②				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤			
						127.52		欠の授業まで終っ					
13	2-8	その他のホ	講造等①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ				
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
14	2-8	その他のホ	構造等②			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ			
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	:			
15	確認·	テスト③				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ_			
		50 lm += =	/割合	1				欠の授業まで終え	わせること	:			
	1. 氰	評価項目。 果題 2	^{/割合} 0 %	授業中の課題、授	業後課題の内容と取組	評 価 	ri 谷						
評価	2. ‡	受業姿勢 3	0 %		いか、②私語がなく受講参加しているか ④忘れ				質問、発言7	など自ら工夫			
基準	3	テストその 5	0 %	確認テスト、期末テ	・ストより評価								
目標	課題	・テスト(その作	也検定など)はそ	- れぞれ20%以上とし、打	受業姿勢は30%とする。								
検 定• 課外													
授業 実施													
予 定·													

科目	目名 建築材料 I A					学期	前	期
担当	教員 伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法講義	夏修分类	選択必何	単位数		2
学習	目的二級建築士建築構造	造(建築材料)の	範囲を学び、建築村	材料の基本	を理解す	ける。		
授業	内容 二級建築士の建築村	材料を学ぶ。特に	こ木材、木質系材料	、鉄筋コン	′クリート、	、鋼材等。		
学習	目標 二級建築士の試験に	内容を学び理解	する。					
使用テ	キスト 2級建築士学科 新 ※適宜プリント配布	体系テキスト構	造					
週数		授業計画			ı	事前・事後の党	学習	
1	2-4-1 木材①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>
				【事後】	課題はか	マの授業まで終れ	りせること	
2	2-4-1 木材②			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>
				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
3	2-4-2 木質系材料①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ 	りせること	
4	2-4-2 木質系材料②			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>
				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
5	確認テスト①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
-	-			【事後】	課題はか	マの授業まで終ね	りせること	
6	2-5-1 鉄筋			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
	2-5-2-1 セメント			【事後】	課題はク	マの授業まで終れ	りせること	
	2-5-2-2 骨材			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	ᆫ
,	2-5-2-3 各種強度			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
	 2-5-2-4 ヤング係数(弾性	係数)		【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
	2-5-2-5 その他の性質			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
	 2-5-2-6 ワーカビリティ(施 2-5-2-7 コンクリートの調合			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
	2-5-2-8 混和剤	-		【事後】	課題はク	マの授業まで終れ	りせること	
10	確認テスト②			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	느
10	推応 / ヘト②			【事後】	課題は次	アの授業まで終れ	わせること	
11	2-7-1 鋼材①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
11				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
10	0_7_1 ₩ ₩++ ♠			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
12	2-7-1 鋼材②			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
10	0.7.4.69++-6			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
13	2-7-1 鋼材③			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
٠. د	A TO LLO			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u> </u>
14	2-7-1 鋼材④			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
_				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ。	<u> </u>
15	確認テスト③			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
	評価項目/割合	授業中の課題、授	業後課題の内容と取組状		内容			
評	1. 課題 20 %	①欠席や遅刻はな	いか、②私語がなく受講で	アナーは良好が			質問、発言なる	ど自ら工夫し
価 基	2. 授業姿勢 30 %		き加しているか ④忘れ物を					
準	3. テストその 50 % 課題·テスト(その他検定など)はそ							
目標 検 定・								
定· 課外 授業								
実施 予								
定•								

			<u></u>	・ナサイン 字科 		2年課程 ————		T		
科目	名	建築材料	ļІВ	,		ı		学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	4目区分専門	授業方法講義	夏修分 数	選択必	単位数		2
学習	目的	二級建築	全士建築構造	造(建築材料) <i>页</i>)範囲を学び、建築	材料の基準	本を理解	゚゚する。		
授業	内容			材料を学ぶ。 接着剤、左官材	料、タイル、石材、圏	新熱材、ボ	一 ド類、	シーリング材、	屋根葺材	†等 。
学習	目標			内容を学び理解						
使用テ	キスト		士学科 新プリント配布	体系テキスト構	造 	ı				
週数				授業計画			I	事前・事後の	学習	
1	3-1-	1 塗装①				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	<u></u>
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終 ———	わせること	<u> </u>
2	3-1-	1 塗装②				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	もんでおく	_ _
						【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	<u>-</u>
3	3-1-	2 ガラス(1	D)			【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	_ _
	0 1	- 77 77 (【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	-
	2_1_	o #=70	a)			【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	<u>ا</u> ك
4		2 ガラス②	-			【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
5	<i>Trbr</i> = ₹1	- - 1 (1)				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
5	推动	テスト①				【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	<u> </u>
	0 1	o ++ * * **	<u> </u>			【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
6	3-1-	3 接着剤(【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
_		- 14-46-4-1				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
7	3-1-	3 接着剤((2)			【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	<u> </u>
	3-1-	4 左官材	***			【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
		5 タイル	111			【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	 :
	3-1-	6 石材				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
9		7 断熱材				【事後】	課題はる	欠の授業まで終	わせること	
1.2	-4					【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
10	確認	テスト②				【事後】	課題はる	欠の授業まで終	わせること	
						【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
11	3-1-	8 ボード類				【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	
	_		: @			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	売んでおく	
12	3-1-	8 ボード類	(2)			【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	 :
	3-1-	9 シーリンクご				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	売んでおく	
13		10 屋根葺				【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	
						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	売んでおく	
14	3-1-	11 その他	<u>1</u>			【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	
						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	売んでおく	
15	確認	テスト③				【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	 <u>-</u>
		評価項目	/割合	120 Mt 1 - 200 at	₩.W.=0.07 > 1 -1 - 1 - 1 - 1	評価	内容			
評	1.	果 題 2	20 %		業後課題の内容と取組物		, L. A.	(<u>-</u>	EE 00	= 4. 10 4 · · ·
価基	2. ‡	受業姿勢 3	80 %	夫し積極的に授業	にいか、②私語がなく受講に参加しているか ④忘.				、真問、発言	まなと目り工
準		テストその 5		確認テスト、期末を						
目標	課題	!・テスト(その∱	心梗定など)はそ	れぞれ20%以上とし、抗	z 美安勢は30%とする。					
検定・										
課外 授業 実施										
美施 予 定•										
	•									

科目	名	建築施工	ΙA					学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法講義	夏修 分类	選択必	単位数		2
学習	目的	二級建築	士建築施工	エの範囲を学び	、建築施工の基本を	を理解する	5.			
授業	内容	二級建築	士の建築加	施工を学ぶ。特	こ契約・計画・管理、	各部工事	等。			
学習	目標	二級建築	士の試験[内容を学び理解	する。					
使用テ	キスト	2級建築: ※適宜プ		体系テキスト施	I					
週数				授業計画			1	事前・事後の学	2習	
1	1-1	契約				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
						【事後】	課題は炎	次の授業まで終わ	わせること	
2	1-2	施工計画				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
						【事後】	課題は炎	次の授業まで終わ	わせること	
3	1-3	管理計画				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
						【事後】	課題はど	欠の授業まで終わ	わせること	
4	確認	テスト①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
						【事後】	課題はど	欠の授業まで終わ	わせること	
5	2-1	仮説工事				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
						【事後】	課題は次	次の授業まで終た 	わせること	
6	2-2	地盤・土工	事∙基礎			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
						【事後】	課題はど	次の授業まで終た 	わせること	,
		鉄筋工事 型枠工事				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
	2 4	坐什工事				【事後】	課題はど	次の授業まで終た 	わせること	,
8	確認	テスト②				【事前】	テキスト	の該当範囲を読 ———	んでおくこ	<u>ا</u> ك
						【事後】	課題は炎	欠の授業まで終わ	わせること	:
9	2-5	コンクリート	~工事①			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>ا</u> ك
						【事後】	課題は炎	欠の授業まで終え	わせること	
10	2-5	コンクリート	~工事②			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u>
						【事後】	課題は炎	欠の授業まで終え	わせること	
11	2-6	鉄骨工事①	D			【事前】	テキスト	の該当範囲を読 	んでおくこ	<u>ا</u> ك
						【事後】	課題は炎	欠の授業まで終え	わせること	
12	2-6	鉄骨工事②	2			【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u>
						1 7 2 2		欠の授業まで終わ		
13	2-8	ALCパネル						の該当範囲を読		
	2-9	押出成形七	2メント板工	争		【事後】	課題は次	欠の授業まで終わ	わせること	
14	2-10	木工事				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>
						【事後】	課題は次	次の授業まで終え	わせること	:
15	確認	テスト③				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u></u>
		評価項目/	/割合	1			課題は2 内容	次の授業まで終え	わせること	
	1. [0 %	授業中の課題、授	業後課題の内容と取組状		,, u			
評価	2. ;	受業姿勢 30	0 %		いか、②私語がなく受講す 参加しているか ④忘れ物				質問、発言な	まど自ら工夫
基準	3. -	テストその 50	0 %	確認テスト、期末ラ	ストより評価					
目標	課是	夏・テスト(その他	0検定など)はそ	れぞれ20%以上とし、	受業姿勢は30%とする。					
検 定・ 課外										
課外 授業 実施										
予 定•										

科目	名	建築施工	I B							学期	後	期
担当	数員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	夏修分 类	選択必何	単位数		2
学習	目的	二級建築	士建築構造	· 〔(施工)	の範囲	を学び、建設	築施工の	基本を理	解する。			
授業	内容	二級建築	士の建築施	正を学ん	ぶ。特に	二各部工事 ^会	等。					
学習	目標	二級建築	士の試験内	容を学り	び理解 ⁻	する。						
使用テ	キスト		士学科 新信リント配布	本系テキ	スト施工	Ľ						
週数				授業計画	画					事前・事後の特	学習	
1	2–11	防水工事						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u> と
'	2 11	例外工事						【事後】	課題はク	アの授業まで終れ	わせること	:
2	0_10	屋根工事						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u> E
2	Z-1Z	注似 工事	•					【事後】	課題はか	アの授業まで終れ	わせること	
0	0.10	-						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
3	2-13	左官工事						【事後】	課題はか	アの授業まで終れ	わせること	:
								【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
4	2–14	タイル・石	工事					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	:
								【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
5	確認·	テスト①						【事後】	課題はか	アの授業まで終れ	わせること	
								【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
6	2-15	塗装工事						【事後】	課題はク	アの授業まで終れ	 わせること	
								【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
7	2-16	建具・ガラ	スエ事					【事後】	課題はク	マの授業まで終れ	 わせること	<u> </u>
								【事前】	テキスト	 の該当範囲を読	んでおくこ	
8	2-17	内装工事						【事後】	課題はク	マの授業まで終れ	ー わせること	
								【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
9	2-18	改修工事								アの授業まで終れ		
										の該当範囲を読		
10	確認·	テスト②								マの授業まで終れ		
										の該当範囲を読		
11	2-19	設備工事								アの授業まで終れ		
										の該当範囲を読		
12	3-1	施工機械・	器具							アの授業まで終れ		
								1		の該当範囲を読		
13	3-2	測量						1 7 1372		の該ヨ軋曲を読 一 での授業まで終れ		
14	3-3	積算·見積								の該当範囲を読		
								1		マの授業まで終れ		
15	確認·	テスト③								の該当範囲を読		
		評価項目	/割合					【事後】 評 価		アの授業まで終れ	いせること	
	1.		20 %	授業中の	課題、授	業後課題の内容	容と取組状況					
評 価 基	2. ‡	受業姿勢 3	80 %	し積極的	に授業に	参加しているか				中によく聞き、メモ、 見点から評価	質問、発言	など自ら工夫
基 準	3. -	テストその 5	60 %	確認テス	ト、期末テ	ストより評価						
目標	課題	・テスト(その他	也検定など)はそれ	ぞれ20%以	上とし、授	業姿勢は30%とす	る。					
検 定• 課外												
授業 実施												
予 定•												

科目	名	建築法規	ΙA							学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	去講義	夏修分 类	選択必何	単位数		2
学習	目的	二級建築	士建築法規	見の範囲	を学び、	、建築法規	見の基本を	理解する	0			
授業	内容	二級建築	士の建築法	は規を学ん	ぶ。特に	こ建築基準	基法等。					
学習	目標	二級建築	士の試験内	7容を学び	び理解 [·]	する。						
使用テ		2級建築コ ※適宜プリ	上学科 新ゲリント配布	体系テキ	スト法	規、建築 <u>関</u>	【 係法令集	法令編、				
週数				授業計画	画					事前・事後の学	智	
1	1-1 ,	用語の定義	<u> </u>					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
								【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
2	1-2	確認申請∙₃	建築手続					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
								【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
3	1-3	面積・高さ等	等の算定					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
								【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
4	1-4	一般構造						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
								【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
5	確認一	テスト①						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	۲
								【事後】	課題は次	での授業まで終れ	わせること	
6	1 - 5	耐火•防火						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
		10337						【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
7	1-6	防火地域。	準防火地域					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
,		- NS-1-24						【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
8	1–7	防火区画						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
0	1 /	财人区国						【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
9	1_0	避難施設等	Ξ					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
9	1-0	姓朱他心故守	F					【事後】	課題は次	欠の授業まで終れ	わせること	
10	7本 到 3	テスト②						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٢
10	14年 676、)						【事後】	課題は次	アの授業まで終れ	わせること	
11	1 0	古壮生117日(1)					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
'	1-9	内装制限①)					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
10	1-0	内壮生1四个						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
12	1-9	内装制限②						【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
10	1 10	## /# = 1 //~	. 供生平点					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٢
13	1-10	構造計算	· 何道强度					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	りせること	
4.4	4 42	出与 July 645-1-1-1						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
14	1-11	敷地等と近	旦 路					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	わせること	
		- - · · ·						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
15	催認	テスト③						【事後】	課題は次	の授業まで終れ	わせること	
		評価項目/		授業中の	課題、授	業後課題の内	内容と取組状法		内容			
評			0 %	①欠席や	遅刻はな	いか、②私語	らがなく受講マ	ナーは良好が		中によく聞き、メモ、「	質問、発言なる	ど自ら工夫し
価 基 準		受業姿勢 30 				加しているか	4 ②忘れ物を	していない、	以上の観点	から評価		
		Fストその 5(I·テスト(その他	0 %	 れぞれ20%以	以上とし、技	受業姿勢は309	%と <u>す</u> る。					
目標検												
定• 課外 授業												
実施予算												
定												

科目	名	建築法規	ΙB						学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法	講義	夏修分 类	選択必何	単位数		2
学習	目的	二級建築	士建築法規	見の範囲を学び.	建築法規	の基本を理	解する	0			
授業	内容	二級建築	士の建築法	ま規を学ぶ。特に	建築基準	法、関係法	令等。				
学習	目標	二級建築	士の試験内	羽容を学び理解・	する。						
使用テ		2級建築 ※適宜プ		本系テキスト法	涀						
週数				授業計画				Ι	事前・事後の学	智	
1	1-12	用途地域					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
							【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
2	1-13	建蔽率					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
		~_ II.X T					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
3	1–14	容積率					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
		цкт					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
4	1–15	高さ制限					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٢
	. 13	四一四四					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
5	72年章为 -	テスト①					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
<u> </u>	11生配。	, ^ru					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
	1 10	口险担制					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
6	1-16	日陰規制					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	っせること	
_		## DI 7 C					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
7	1-1/	雑則・その	他の規定				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
8	2-1	建築士法					【事後】	課題は次	アの授業まで終れ	つせること	
			_				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
9	2-2	バリアフリー	−法				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
10	確認一	テスト②					【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
11	2-3	耐震改修仍	建進法				【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
12	2-4	品確法•瑕	疵担保履行:	法			【事後】	課題は次	マの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
13	2-5	都市計画法	<u> </u>				【事後】	課題は次	アの授業まで終れ	つせること	
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	٤
14	2-6	その他の関	係法令						マの授業まで終れ		
									の該当範囲を読		<u></u>
15	確認	テスト③							マの授業まで終れ		
		評価項目/	割合	授業中の課題、授	業後理野の中で	交上的组件公	評価				
評	1. 訳	果題 20	0 %				一付自紅子	か ③培業で	中によく聞き、メモ、質	雪問 登章 #>	ど白ムT≠!
価基	2. 排	受業姿勢 30	0 %	積極的に授業に参確認テスト、期末テ	加しているか					マロ・ルロ (4)	
準		テストその 50 i・テスト(その他		れぞれ20%以上とし、技		- する。					
目標検	an RE	C 07 E	- DAC 00 / 10 (1	. C	J160070C	- · • ·					
定• 課外 授業											
実施											
定・											

科目	名	Photoshop•illustrator	Α					学期	前	期
担当	教員	小林 弘二	科目区分 専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数		1
学習	目的	Photoshop及びIllustra	orの基本操作と基	基礎知識の習 行	导					
授業[内容	前期はillustratorを中心	パにアドビ認定アソ	シエイト資格耳	取得相当の内	P容、illu	stratorを活り	用した課題	題制作	
学習	目標	Photoshop及びIllustra	orの役割を理解し	、illustratorの	基礎知識を理	理解、基	本操作がで	きるよう	こなること	
使用テ	キスト	ACA アドビ認定アソシエ	イト対応 Photoshop	CC 試験対策、	ACA アドビ認	定アソシ	エイト対応 III	ustrator C	C 試験対策	
週数				授	業計画					
1	導入、	・Photoshopとillustrator根	我要、基本操作							
2	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ソヨナル試験対策 受	を験プログラムミ	実技問題①					
3	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ソヨナル試験対策 受	を験プログラムミ	実技問題②					
4	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ソヨナル試験対策 受	を験プログラムミ	実技問題③					
5	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ソヨナル試験対策 受	を験プログラムミ	実技問題④					
6	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ショナル試験対策 受	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実技問題⑤					
7	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	/ョナル試験対策 受	を験プログラムミ	実践問題①					
8	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ソヨナル試験対策 受	を験プログラム 写	実践問題②					
9	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ィョナル試験対策 受	を験プログラムミ	実践問題③					
10	Illustra	atorアドビ認定プロフェッシ	ィョナル試験対策 受	を験プログラム 写	実践問題④					
11	illustra	ator練習課題 (ロゴデザイ	ン トレース)							
12	illustra	ator練習課題(チラシデザ	イン トレース)							
13	Illustra	ator活用課題制作1								
14	Illustra	ator活用課題制作2								
15	Illustra	ator活用課題発表、講評、	フィードバック							
		評価項目/割合				評価内				
評	1.	課 題 50%	最終課題の出来栄え					* + - + -	8+ /+ scc	24 = 1 · · · ·
評 価 基	2	授業姿勢 30 % 	①欠席・遅刻がないか 工夫し積極的に授業(引さ、メモ、質問	、発言など自ら
準	3	テストそに20%	授業内の課題成果で	評価。						
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その		・テスト(その他検定など)はそれそ 進捗度・理解度等により、授業								

科目	名	Photoshop•illust	rator I	В					学期	後	期
担当	教員	小林 弘二	_	科目区分専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数		1
学習	目的	Photoshop及びIllu	strator0)基本操作と基礎:	知識の習得、	Adobe認定プロ	コフェッシ	ョナルに相	当する	知識・スキル	習得
授業	内容	後期はPhotoshop	を中心に	アドビ認定アソシ	エイト資格取行	导相当の内容	、illustrat	or と Photos	shopを決	舌用した課題	制作
学習	目標	Photoshopの基礎	楚知識を	·理解、基本操作	ができるよう	うになること、	illustrate	or&Photo	shop $\sigma_{\!$)連携を理角	弾する
使用テ	キスト	ACA アドビ認定ア	ソシエイ	ト対応 Photoshop	CC 試験対策	、ACA アドビ	認定アソ	シエイト対	応 Illust	trator CC 試	験対策
週数					授業	計画					
1	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実技問題①)				
2	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実技問題②)				
3	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実技問題③)				
4	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実技問題④)				
5	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ		 受験プログラ.	ム実技問題⑤)				
6	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実践問題①)				
7	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実践問題②)				
8	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実践問題③)				
9	Photo	shopアドビ認定プロ	コフェッシ	ョナル試験対策	受験プログラ.	ム実践問題④)				
10	Photo	shop練習課題①:	説明と制	 作、回答							
11	Photo	shop練習課題②:	説明と制	J作、回答							
12	Photo	shopとillustratorの	連携 画	像配置とその機能	 卡特性						
13	Illustra	atorとPhotoshopを	活用した	建築プレゼンパネ	い製作①						
14	Illustra	atorとPhotoshopを	活用した	建築プレゼンパネ	い製作②						
15	建築フ	プレゼンパネル発表	表講評、	フィードバック							
		評価項目/割合					価 内 容				
評		課題 50%		最終課題の出来栄え ①欠席・遅刻がないた						h/- ፅ/태츠 '	工 麼朋 &-
価 基		授業姿勢 30 %		など自ら工夫し積極的	りに授業に参加し						こ、貝미、光言
準		テストそ 20 % ·テスト(その他検定など)		授業内の課題成果で							
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その		進捗度・理解度等により				す。					

科目	I 名 建築計画 II A						学期	前	期
担当	教員 伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法	講義	夏修分 類	選択必	単位数		2
学習	目的 一級建築士建築計画	回と二級建築施	工管理技艺	上補の範囲	目を学ぶ	0			
授業	内容 一級建築士の建築計	十画と二級建築	施工管理技	支士補を学	^는 ぶ。				
学習	目標 一級建築士の建築計	十画と二級建築	施工管理技	支士補の詞	式験内容	を学び耳	里解する。		
使用テ	キスト 前年度テキスト、建第 ※適宜プリント配布	搀施工管理技 士	要点テキス	スト2級、強	建築施工	.管理技:	士即戦問題集	2級	
週数		授業計画				I	事前・事後の特	学習	
1	1 建築士の職責・業務				【事前】	テキスト	の該当範囲を誘	たんでおく	
					【事後】	課題は	欠の授業まで終	わせること	<u>-</u>
2	2 建築物の環境共生				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	
					【事後】	課題は	欠の授業まで終	わせること	<u>-</u>
3	確認テスト①				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	
					【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
4	3 マネジメント						の該当範囲を誘		
					【事後】	課題は	欠の授業まで終	わせること	=
5	4-2 集合住宅						の該当範囲を読		
							欠の授業まで終		
6	確認テスト②						の該当範囲を誘		
							欠の授業まで終		
7	5 公共建築						の該当範囲を読		
							欠の授業まで終		
8	5-8 公共建築の実例						の該当範囲を読		
							欠の授業まで終		
9	確認テスト③						の該当範囲を読		
					1 1 1 1 1		欠の授業まで終		
10	4-3 劇場						の該当範囲を読		
					【事後】	課題は	欠の授業まで終	わせること	=
11	7-2 面積算定・寸法設計の	概要					の該当範囲を読		
					【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
12	確認テスト④				【事前】	テキスト	の該当範囲を誘	もんでおく	
					【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
13	10 積算 8 都市計画				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	
	- Rutu E				【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
14	9 建築史				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	ځ <u>ـ</u>
					【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	=
15	確認テスト⑤				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	もんでおく	_F
	ᆕᅲᄺᅷᆓᄆ _ᆡ ᆂᆄᄼ	ı					欠の授業まで終	わせること	=
	評価項目/割合 1. 課 題 20 %	授業中の課題、授	業後課題の内容	容と取組状況	評 価	73 谷			
評価	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はな し積極的に授業に					中によく聞き、メモ、 見点から評価	質問、発言	など自ら工夫
基準	3. テストそ6 50 %	確認テスト、期末テ	ストより評価						
目標	課題・テスト(その他検定など)はそれ	ュ れぞれ20%以上とし、打	受業姿勢は30%	とする。					
検 定•									
課外 授業 実施									
予 定•									

		T							1					
科目	名	建築構造力学ⅡA							学期	前	期			
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	厦修分 类	選択必	単位数		2			
学習	目的	一級建築士建築構造	造(力学)	の範囲	を学び、構	造力学の基	基本を理	!解する。						
授業	内容	一級建築士の構造だ	力学を学ん	ప .										
学習	目標	 一級建築士の構造の	の試験内	容を学	び理解する	0								
使用テ	キスト	2022年1級建築士学 ※適宜プリント配布	科新体系	系テキス	く 構造									
週数			授業計	画					事前・事後の学	学習				
1		力のつり合い					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	ح.			
•	1-2	安定•静定					【事後】	課題は	欠の授業まで終わ	わせること				
2	1 2	塾字提進物の長力					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	ځ.			
	1-3	静定構造物の反力					【事後】	課題は	欠の授業まで終わ	わせること				
	2-1	応力					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	ح.			
		静定ばりの応力計算					【事後】	課題は	欠の授業まで終れ	わせること				
							【事前】	前】テキストの該当範囲を読んでおくこと						
4	確認·	テスト①			 【事後】	●								
					【事前】	テキスト	の該当範囲を読		٤					
5	2-3	静定ラーメンの応力計	算				【事後】	課題は	欠の授業まで終れ	 わせること				
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読		٤			
6	2–4	静定3ヒンジラーメンの	Ī			【事後】	事後】課題は次の授業まで終わせること							
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	 えんでおくこ	٤			
7	2–5	静定トラス					【事後】							
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	٤			
8	3–1	部材の性質					【事後】	課題は	欠の授業まで終わ	わせること				
							【事前】	テキスト	の該当範囲を読		ح.			
9	確認·	テスト②					【事後】	課題は	欠の授業まで終れ	 わせること				
							 【事前】	テキスト	の該当範囲を読	えんでおくこ	ح.			
10	3-2	応力度と許容応力度					【事後】	課題は	欠の授業まで終っ	わせること				
							 【事前】	テキスト	の該当範囲を読	 もんでおくこ				
11	3-3	部材の変形(たわみと	たわみ角)			【事後】	課題は次	欠の授業まで終っ	わせること				
									の該当範囲を読					
12	3−4 確認·	座屈 テスト③							欠の授業まで終え					
									の該当範囲を読					
13	4–1	不静定構造物の応力と	上変形						欠の授業まで終					
									の該当範囲を読					
14	4–2	耐震の基本理念							の設当配面であ 欠の授業まで終;					
									の該当範囲を読					
15	確認·	テスト④							の該当配西を訪 欠の授業まで終					
		評価項目/割合					評価							
=-	1.	果題 20%			業後課題の内容									
評価基	2. ‡	受業姿勢 30 %	積極的に	授業に参	加しているか				中によく聞き、メモ、st いら評価	質問、発言な	ど自ら工夫し			
準		テストその 50 %			ストより評価									
目標	課題	зテスト(その他検定など)はそ	 れぞれ20%」	以上とし、技	 受業姿勢は30%。	 :する。								
検 定・ 課外														
授業実施														
予 定•														

科目	名	建築環境	工学ⅡA							学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	夏修分 数	選択必	単位数		2
学習	目的	一級建築	士建築環均	竟設備の	範囲を	学び、環境	設備の基	本を理解	きる。			
授業	内容	一級建築	士の環境詞	设備を学.	స్ .							
学習	目標	一級建築	士の環境記	受備の試 	験内容	を学び理解	ぱする。					
使用テ	キスト		級建築士学 リント配布	科新体	系テキス	スト環境設備	#					
週数				授業計	画					事前・事後の学	学習	
1	1 室	内環境						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ_
<u>'</u>		.1 3-24-56						【事後】	課題は炎	欠の授業まで終わ	わせること	•
2	1 室	内環境						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>ا</u> ك
								【事後】	課題は次	次の授業まで終わ	わせること	
3	2 換	.気						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ
								【事後】	課題は次	次の授業まで終わ	わせること	
4	2 換	.気						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>ع:</u>
								【事後】	課題は次	欠の授業まで終わ	わせること	
5	3 伝	:熱∙結露						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>ا</u> ك
								【事後】	課題は炎	欠の授業まで終え	わせること	
6	3 伝	:熱∙結露						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u>
								【事後】	課題は次	欠の授業まで終え	わせること	
7	4 日	照•日射						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	<u>-</u>
										次の授業まで終わ		
8	4 日	照∙日射								の該当範囲を読		
								1		欠の授業まで終え		
9	5 採	光·照明								の該当範囲を読		
										次の授業まで終え 		
10	5 採	光·照明								の該当範囲を読		
										欠の授業まで終え 		
11	6 色	彩								の該当範囲を読		
										欠の授業まで終た。 		
12	6 色	彩								の該当範囲を読		
										欠の授業まで終た 		
13	7 音	·響 音								の該当範囲を読 欠の授業まで終?		
										Kの授業まで終え の該当範囲を読		
14	7 音	響音								の該当配囲を読 ―――― 欠の授業まで終っ		
										Kの授業まで終っ の該当範囲を読		
15	確認·	テスト								の該ヨ軋囲を訪 一 欠の授業まで終っ		
		評価項目	/割合	Ties anns	-m pz '	₩ / ↓ === ==	5 To A= 11	評価		入小の (中に)	,, _	
≘क	1. 氰	果 題 2	0 %			業後課題の内容						. 18-2-
評 価 基	2. ‡	受業姿勢 3	0 %	積極的に	授業に参	加しているか				中によく聞き、メモ、∫ ∴から評価 	質問、発言を	ど自ら工夫し
準		テストその 5				ストより評価	나 ; 고					
目標検	課題	・ナスト(その作	也検定など)はそ	れてれ20%!	以上とし、打	▽未安勢は30%。	_9 වං					
検 定・ 課外												
授業 実施 予												
定・												

1.1 -	1 夕 7本体=□./# ㅠ・						775 TE	٠	#P
科目		N D 등 기 속 마	1777 444 44- 541 -		2 <i> </i>	\55 1□ \.	学期 	前	期 ———
担当		科目区分専門	授業方法			選択必	単位数		2
学習	目的 一級建築士建築環境 ————————————————————————————————————	見設備の配囲を	子ひ、土に	設備の基本	トを埋置	年9る。			
授業	内容 一級建築士の環境診	设備を学ぶ。 							
学習	目標 一級建築士の環境診	设備の試験内容	字を学び理解	ない ない はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい					
使用テ	キスト ※適宜プリント配布	科新体系テキ	スト環境設備						
週数		授業計画					事前・事後の	学習	
1	8 建築設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
					【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
2	8 建築設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	<u>-</u> ک
				ı	【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
3	8 建築設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
0	0 是来欧洲			I	【事後】	課題はク	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
4	9 空気調和設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を記	売んでおく	ح2
4	ン エメル刎イムスズル閉				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
5	9 空気調和設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
J					【事後】	課題はか	アの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
6	9 空気調和設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
					【事後】	課題は次	アの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
7	10 給排水衛生設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を討	売んでおく	こと
,	10 和195外用工改加			I	【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
8	10 給排水衛生設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を記	売んでおく	こと
0	10 和弥水倒土故牖				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
9	11 照明設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
9	11 烷沙拉州			\[\left[【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
10	11 照明設備				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
10	11 税奶放佣				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
11	10 奉气, 榆坐乳供				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	こと
-	12 電気・輸送設備				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
12	12 雷气- 鹼半乳烘				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
12	12 電気・輸送設備				【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u> </u>
10	12、当小,陆巛凯进				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
13	13 消火・防災設備			Ī	【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせるこ	<u>-</u>
4.4	1.0 、火小、叶《《=r./+			ļ	【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
14	13 消火・防災設備			ļ	【事後】	課題は次	マの授業まで終	わせるこ	 <u>-</u>
4.5	7本:和ニッ !				【事前】	テキスト	の該当範囲を認	売んでおく	
15	確認テスト			ļ	【事後】	課題はか	マの授業まで終	わせるこ	<u>_</u>
	評価項目/割合	授業中の課題、授	業後課題の内容	2/取組状況	評価	内 容			
評	1. 課題 20%				1+ th 1-	V ⊘1≃ ™	カ/- レノBBナ ・ -	后田 &=	+>15 th > = ±
価基	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はなし積極的に授業に	参加しているか					貝问、発言	少と目り工夫
準	3. テストそ6 50 %	確認テスト、期末ラ							
目標	課題・テスト(その他検定など)はそれ	れぞれ20%以上とし、	授業姿勢は30%と	≟する 。					
検 定•									
課外 授業 宝施									
実施 予 定•									
正 •									

科目	名	建築法規	IВ							学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	夏修分 类	選択必	単位数		2
学習	目的	一級建築	士建築法規	 の範囲	- <u>-</u> を学び、	法規の基	本を理解す	する。				
授業	内容	一級建築	士の法規を	学ぶ。								
学習	目標	一級建築	士の法規の	試験内	容を学で	び理解する	0					
使用テ	・キスト		級建築士学 学院編 建									
週数				授業計區	画					事前・事後の学	学習	
1	1-1	建築士法						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ع=
	<u> </u>	<u></u>						【事後】	課題はど	欠の授業まで終	わせること	<u> </u>
2	1-2	建設業法						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	_ح
								【事後】	課題はど	次の授業まで終え	わせること	<u> </u>
3	2-1	建築基準法	去 用語の定	義						の該当範囲を読		
		1 %								欠の授業まで終え		
4	2-1	建築基準語	去 用語の定	義				2 7 1372		の該当範囲を読		
		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	- ///III · //					【事後】	課題はど	次の授業まで終っ	わせること	<u> </u>
5	確認	テスト①						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	_ح
	11,22,410							【事後】	課題はど	次の授業まで終え	わせること	<u> </u>
6	2-2	確認申請領	等の手続き規	!定				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	_ح
								【事後】	課題はど	次の授業まで終え	わせること	<u> </u>
7	2-2	確認申請領	等の手続き規	!定				【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	_ح
		PERO I HIT	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					【事後】	課題はど	次の授業まで終え	わせること	=
8	2-3	防火関係規	見定①					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ_
		1937 (A) (A)						【事後】	課題は次	次の授業まで終	わせること	
9	2-3	防火関係規	見定②					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおく	ځ_
		1937 (A) (A)						【事後】	課題は次	次の授業まで終	わせること	
10	確認	テスト②						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
	ншио							【事後】	課題はど	欠の授業まで終	わせること	<u> </u>
11	2-4	避難関係規	見定①					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
L.,	_ '	λΕΙ ΧΕΙ ΙΧΙ ΙΝΥ 7:						【事後】	課題は次	次の授業まで終	わせること	
12	2-4	避難関係規	見定②					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	ځ_
'2	_ ′	~~ ^다지 (사)						【事後】	課題は次	欠の授業まで終れ	わせること	<u> </u>
13	2-5	内装制限等	集(1)					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
		. 3-20, (1/17/20, 7						【事後】	課題は次	欠の授業まで終	わせること	<u>-</u>
14	2-5	内装制限等	<b>等②</b>					【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおくこ	
		1 14X中的代文	·, 🐷					【事後】	課題は次	欠の授業まで終れ	わせること	<u> </u>
15	確認	テスト③						【事前】	テキスト	の該当範囲を読	んでおく	ځ_
	~ IE IVI			•						欠の授業まで終れ	わせること	<u> </u>
-		評価項目/	/割合	授業中の	課題 拇笔	業後課題の内容	容と取組状況	評価	内 容			
	1.	果題 20	0 %									
評価	2. ‡	受業姿勢 30	0 %			いか、②私語? 参加しているか				中によく聞き、メモ、 見点から評価	質問、発言	など自ら工夫
基準		テストその 50				ストより評価						
			・・。 也検定など)はそれ	     ぞれ20%	以上とし、授	業姿勢は30%と	:する。					
目標	HALL NO.		2.22.27.64		-2011	127,3,23760						
検 定・												
課外 授業												
実施												
予 定•												
_~_	•											

科目		建築設計製						学期	——— 前	期	
						43 No.					1
担当		伏間 第		科目区分専門	授業方法演習	分類	選択必	単位数		2	
学習	目的	一級建築士	設計製図	に対応できる	力を身に着ける。 						
授業	内容	一級建築士	設計製図	の範囲を実践	する。 						
学習	目標			記試験の傾向と スキス、作図、	対策を学ぶ。 要点記述を時間管理 	できるよ	うになる	) o			
使用テ	キスト	1級建築士 ※適宜プリ		テキスト 設計	製図 TAC						
週数					授業計画						
1	1 級器	事练 十記計制	阿計略無	要·時間管理等·	作団練翌						
2	I NXX	主未工权可表	(四四八河大19人)	女"时间自注守"	11-四林日						
3	読み	<b>≣</b> ∇ L)									
4		トレーニング									
5		<b>L 7 (1)</b>									
6		キス① トレーニング									
7											
		キス② トレーニング									
8											
9	エス <i>-</i> 作図	キス③ トレーニング									
10											
11	エス <i>=</i> 佐図	キス④ トレーニング									
12	TFIZ	<u> </u>									
13		記述①									
14	作図	トレーニング									
15	要占	記述②									
16		トレーニング									
17	<b>一声</b> 上	=□`#®									
18	作図	記述③ トレーニング									
19											
20	課題	1 読み取り・	エスキスプ	゚ロセス							
21											
	課題	1 作図・要点	記述								
22											
23	課題	2 読み取り:	エスキスプ	ロセス							
24											
25	課題	2 作図・要点	記述								
26											
27	課題:	3 読み取り・:	エスキスプ	ロセス							
28		~J-7-IA /									
29	●田 日本										
30	<b>休</b> 題	3 作図・要点	品以								
		評価項目/割		授業中の課題、授	評 業後課題の内容と取組状況	価 内 容	-				
評価		課題 70	%	①欠席や遅刻はな	いか、②私語がなく受講マナ	├一は良好	か、③授業	中によく聞	き、メモ、ケ	質問、	発言な
価 基 準		授業姿 30		ど自ら工夫し積極的 確認テスト、期末テ	内に授業に参加しているか	④忘れ物を	<u>を</u> していなし	八、以上の勧	見点から評	価	
华		テストそ 0 ' 	%		授業姿勢は30%とする。						
目標 検定・	HALK		. 5 5 ± 7 to € 1	2. 2.33,220							
課外 授業 宝施											

科目	名	建築士丸	対策ⅡA(製図	<b>Z</b> )				学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法 演習	分類	選択必	単位数		2
学習	目的	一級建築	<b>全士設計製図</b>	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	力を身に着ける。		l	<u> </u>		
授業	内容	一級建築	<b>空士設計製図</b>	図の範囲を実践	 美する。					
学習	目標				と対策を学ぶ。 要点記述を時間管理	できるよ	うになる	) _o		
使用テ	キスト		士 新体系 ⁻ パリント配布	テキスト 設計	製図 TAC					
週数					授業計画					
2	過去	問解説、過	<b>违去</b> 問作図							
3 4	課題	1 読み取 ^り	り・エスキスプ	゚ロセス						
5	課題	1 作図・要	<b>E点記述</b>							
7	課題	2 読み取 ^し	り・エスキスプ	゚ロセス						
9	課題	2 作図・要	<b>克点記述</b>							
11	課題	3 読み取り	り・エスキスブ	゚ロセス						
13	課題	3 作図・要	ē点記述							
15 16	課題	4 読み取り	り・エスキスブ	゚ロセス						
17	課題	4 作図・要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
19	課題	5 読み取り	り・エスキスプ	゚ロセス						
21	課題	5 作図・要	<b>Ā</b> 点記述							
23	課題	6 読み取り	り・エスキスブ	゚ロセス						
25 26	課題	6 作図・要	亮点記述							
27	課題	7 読み取 ^り	り・エスキスブ	゚ロセス						
29	課題	7 作図・要	ē点記述							
		評価項目	/割合	世帯中で記号		平価内容	ļ.			
評	1.	課 題 7	70 %		受業後課題の内容と取組状況 ないか、②私語がなく受講マ		か. ③授業	中によび	聞き、火干・	質問、発言な
価基準		授業姿 3			的に授業に参加しているか					
準		テストも			, 大いより計画  、授業姿勢は30%とする。					
日標 検定・ 課外 授業 無	林龙	· ノヘド(での)	1571大になく / 14で	10 € 102070以上でし	A IX不安力IAVU70C 9 句。					

科   	名	建築士対 	<b>策ⅡA(計</b>	. 画)						学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必	单位数		1
学習	目的	一級建築	士建築計	画の範囲	を学び	、建築計画	画の基本を	理解する	る。			
授業	内容	一級建築	士の建築	計画を学	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゙゙゚゙゚ゔ゙。							
学習	目標					を学び理解						
使用テ	キスト	パクト建翁	极建采工 ⁻ 築設計資米 ハント配本	斗集成	ボノヤ		カノ一版凶	就 建多	その歴文	<u> 四</u> 月	- * 口 本 * )	近れ、コン
週数			11 * , K m a 25			授業	計画					
1	1 建第	築士の職責	•業務									
2	2 建氯	築物の環境	共生									
3	確認·	テスト①										
4	3 マネ	<b>ネジメント</b>										
5	4-2 ‡	集合住宅										
6	確認	テスト②										
7	5 公元	共建築										
8	5-8 4	公共建築の	実例									
9	確認:	テスト③										
10	6-3	劇場										
11	7–2	面積算定・	寸法設計0	)概要								
12	確認·	テスト④										
13	10 和 8 都	責算 3市計画										
14	9 建	築史										
15	確認:	テスト⑤										
	_	評価項目/					評	価 内 容	F			
評		課 題 20										
評価基準		授業姿 30										
準		テスト 30		それごわ 000	(N F E) - A	授業姿勢は30%	<b>4レ</b> オス					
日標検定・	<b>詳</b> 起	∞・ ៸ ∧ ▷ ( その付	世快定など)は	<b>く11で7120%</b>	」以上とし、	1文未安勢は309	ଅ⊆୨ଚଃ					
課外 授業												

科目	名	建築士対策	策ⅡA(法	<b>法規</b> )						学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必	单位数	1	
学習	目的	一級建築:	士建築法	規の範囲	を学び	、法規の基	本を理解す	する。	•			
授業	内容	一級建築:	士の法規	を学ぶ。								
学習	目標	一級建築:	士の法規	の試験内	容を学	び理解する	<b>3</b> .					
使用テ	キスト	2022年1級 総合資格	)建築士 学院編	学科新体 建設関係	系テキス法令集	スト法規 法令編						
週数						授業	計画					
1	2-6	一般構造規	定									
2	2-7	建築設備・そ	その他									
3	2-8	構造強度①										
4	2-8	構造強度②										
5	確認	テスト①										
6	2-9	都市区域等	における	制限①								
7	2-9	都市区域等	における	制限②								
8	2-9	都市区域等	における	制限③								
9	建築	協定な、雑貝	IJ									
10	確認	テスト②										
11	既存	不適格建築	物、用途	変更								
12	関係	法令①										
13	関係	法令②										
14	関係	法令③										
15	確認	テスト③										
	-1	評価項目/割		授業中の	課題、授業	業後課題の内	評 容と取組状況	価 内 容	-			
評価		課 題 20 授業姿 30					がなく受講マナ 加しているか (					
評価基準		テスト÷ 50				ストより評価		J. 1910		. ~		-,
		夏・テスト(その他)			以上とし、打	受業姿勢は30%	6とする。					
日検課授実施												

 建築・デザイン 学科
 2年課程
 2 年

科目	名	建築士対	ˈ策ⅡA(構ː	告)						学期	後	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必	单位数	1	
学習	目的	一級建築	士建築構造	造の範囲	を学び	、一般構造	の基本を	理解する	<b>5</b> 。			
授業	内容	一級建築	士の一般権	構造を学	ぶ。							
学習	目標	一級建築	士の構造の	D試験内	容を学	び理解する	5.					
使用テ			級建築士学 リント配布	科新体:	系テキス	スト構造						
週数						授業	計画					
1	5-1	荷重·外力										
2	5-2	構造計算①	D									
3	5-2	構造計算②	2)									
4	5-3	耐震設計										
5	5-4	その他の様	<b>構造計算~</b>									
6	6-1	鉄筋コンク	リート構造 <i>の</i>	)性質~								
7	8-2-3	3 部材算定	定(柱の設計	から)								
8	8-4	壁式構造関	関係									
9	7-1	鋼材の性質	<b></b>									
10	7-2	部材の設言	<del>'</del> †									
11	8-1	鉄骨鉄筋=	コンクリート構	造								
12	9 木	質構造										
13	10 均	也盤と基礎な	構造									
14	11 延	建築材料										
15	確認	テスト										
	-	評価項目		授業中の	課題、授業	業後課題の内容		価 内 容	3			
評		課題 20					がなく受講マナ					
価 基 準		授業姿 30				かに授業に参加 ストより評価	口しているか ④	4)忘れ物を	<u>を</u> していなし	、以上の	の観点から評価	西
华		テスト  50 	0 %   他検定など)はそ	<b>れぞれ20%</b>	以上としま	受業姿勢は30%						
世標 検定・ 課外 業	M-LV-WS		3.2.716 C	2,52070								
宝施	ı .											

 建築・デザイン 学科
 2年課程

 1

科目	名	建築士対策	策ⅡA(施:	エ)				学期	後	期
担当	教員	伏間 爿	崇太郎	科目区分専門	授業方法演習	分類	選択必	単位数	1	
学習	目的	一級建築	土建築施.	エの範囲を学び	、施工の基本を	理解する。				
授業Ⅰ	内容	一級建築:	士の施工で	を学ぶ。						
学習				の試験内容を学						
使用テ		2022年1級 ※適宜プリ		科新体系テキン	スト施工 					
週数					授業計画					
		工計画 事現場管理	1							
		事現場管理 盤調査・測量								
3	4 仮	設工事								
4	5 ±	工事·基礎·	事業工事							
5	6 鉄	筋工事								
6	7 型	枠工事								
7	8 🎞	ンクリートエ	事							
8	9 鉄	骨工事								
9	10 ;	木工事								
10	11 [	防水・シーリ	ング・屋根	工事						
11	12 7	左官・タイル	•張り石工	事						
12	13 ; 14	ガラス工事 内装・断熱エ								
		塗装・吹付け 外装工事	十工事							
14	17 i	設備工事 改修工事								
15	19 i 確認 ⁻	エ事請負契? テスト	約約款等							
		評価項目/割		授業中の課題、授	業後課題の内容と取	評価内容組状況	\$			
評		課 題 20		①欠席や遅刻はな	いか、②私語がなく受	受講マナーは良好				
評価基準		授業姿 30			りに授業に参加してい					
準		テスト 30		れぞれ20%以上とし、						
日標 検定・ 課外 授実施	<b>林</b> 花	3 / ヘドくて の他	12KC'4C / 16T	-10 € 102070 <i>I</i> IX.±€U.	_{1×} ★ 포 ઝ 16 0U 70 ⊂ 9	0				

						1	1					
科目	目 名	建築士対策 II A(環境	<b>記</b> 聞)			学期	後	期				
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法演習	分類 選択必	単位数		2				
学習		社会問題や環境問題 解決に向かう一連の		<b>関など、テーマを自</b>	由に設定し、それ	らを「	建築」とい	う手段で				
授業	内容	基本的な作業(準備、 ゼンテーションする。	段取り、調査、	説明など)を行い、強	■ ■築が解決できる	ことは	何かを追	 求しプレ				
学習	·目標	今まで学んできた建築	楽学・計画学の	集大成。								
き用ラ	キスト	※適宜プリント配布										
週数				授業計画								
2	ガイタ	ダンス:卒業制作の概要	と前期作業内容	の解説								
3	エスニ	キス:テーマ設定(調査資	資料、作業資料、	敷地図面等による確認	☑)							
<u> </u>												
6	エスニ	キス:コンセプト設定(ダ	イアグラム、図面	「、スタディも系統による	6確認)							
7												
8	エスニ	キス∶計画案の概要設定	<b>ヹ</b> (ダイアグラム、	図面、スタディ模型等	こよる確認)							
9												
10	発表	:取り組む課題とその計	画案について発	表(PC&プロジェクター	-で1人5分程度)							
11												
12	エスニ	キス:計画案設計作業(:	全体設定、詳細語	設計等具体的な内容研	筆認)							
13												
14	17/2	キス:計画案設計作業(:	全体設定、詳細語	<b>設計寺具体的な内容</b> 値	<b></b>							
15 16	エスニ	キス:計画案設計作業(:	全体設定、詳細語	設計等具体的な内容研	筆認)							
17	- 発表	:計画内容の詳細発表(	PC&プロジェクタ	ターで1人5分程度)								
19	エスニ	キス:プレゼンテーション	作業(最終図面、	、解説文、解説用図版	、模型等の確認)							
21	エス゠	キス:プレゼンテーション	作業(最終図面、	、解説文、解説用図版	、模型等の確認)							
23												
24	エスキ	キス:プレゼンテーション	作業(最終図面、	、解説文、解説用図版	、模型等の確認)							
25		+→.→°. 12\ - \ ·	<b>作类/目络</b> 丽士	A7 = 4 + 47 = 47 = 10 = 10 = 10	<b>増削佐の空</b> で							
26	エスニ	キス:プレゼンテーション	TF耒(冣終凶面、 	、胜战乂、解詋用凶版	、 <b>悮</b> 望寺の催認) 		-	_				
27	発表	: 最終発表(PC&プロジ	ェクターで1 J.54									
28	707		.,									
29	最级	成果手直し&最終提出										
30	<b>山又小</b> 宅	<b>ルネナビしな取称徒出</b>										
	-	評価項目/割合	授業中の課題、授	までである。 業後課題の内容と取組状況	平価内容							
評価		課 題 20 % ————— 授業姿 30 %		いか、②私語がなく受講マ [・] りに授業に参加しているか								
基準		テストそ 50 %	確認テスト、期末テ		Sign of Marian	. ,	MWW. O	, pand				
		・テスト(その他検定など)はそれ	  -  ・ぞれ20%以上とし、授	業姿勢は30%とする。								
日標 検定・ 課外												
授業生物												

新書名   MVGADIA   PRO	Г	$\overline{}$									<del>                                      </del>			
子宮目的   WCADのコマンド操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得   技工内容   基本保存演習と作図課題素質に取り起む   基本保存演習と作図課題表質に取り起む   技工   技工   技工   技工   技工   技工   技工   技	名 JW	JW	VCAD I	Α.			_	_			学期	前	期	1
技工的学   基本保存とADソフトの展集担張   作図演音を造して図画作成の流れを描む   表 本保存とADソフトの展集担張   作図演音を造して図画作成の流れを描む   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 本保度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未成度性   表 未	<b>教員</b>		小木	妹 弘二	•	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		2	
	目的 JW	JW	VCAD <i>O</i> .	)コマント	ヾ操作∙	·各種設定·作図	技術・印刷力	法の習得						
提展子主スト 初めての建築CAD、建築CAD検定試験公式ガイドブック  - 一	内容 基	基	本操作	演習と何	作図課:	題演習に取り組	む							
提案計画	目標 基	基	本操作	とCAD;	ノフトの	概要把握、作図	演習を通し	て図面作成の	の流れを	掴む				
基本件回接作(核分・消去・矩移・中心核・複雑)     基本件回接作(中部・コーナー・面取・分割)     基本件回接作(模写・移動・パラメトリック・多角移・測定)     基础課題1(木造住宅) 配置回作成     基础課題1(木造住宅) 配置回作成     基础課題1(木造住宅) 配置回作成      基础課題1(木造住宅) 和整理面回作成      基础課題1(木造住宅) 1階平面回作成      基础課題1(木造住宅) 2階平面回作成      基础課題1(木造住宅) 2階平面回作成      基础課題1(木造住宅) 1階平面回作成      基础課題1(木造住宅) 2階平面回作成      基础課題1(木造住宅) 2階平面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 5階平面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 5階平面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成      基础課題2(鉄筋コンクリート造) 新面回作成	キスト初	~ 初(	めての	建築CA	D、建瓴	築CAD検定試験	公式ガイドブ	「ック						
基本作図機作(用・円弧・接円・接点・点)							授第	美計画						
基本作図操作(伸縮・コーナ・面取・分割)     基本作図操作(伸縮・コーナ・面取・分割)     基本作図操作(検稿・4を動・パラメトリック・多角形・測定)     基礎課題1(木造住宅) 図枠作成・レイヤ設定・記置図作成     基礎課題1(木造住宅) 配置図作成     基礎課題1(木造住宅) 配置図作成     基礎課題1(木造住宅) に関東面図作成     基礎課題1(木造住宅) に関東面図作成     基礎課題1(木造住宅) と贈平面図作成     基礎課題1(木造住宅) と贈平面図作成     基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産の目標成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図の元成立     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図作成     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産図     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 財産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 対産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 対産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 対産     基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎課題2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産     基礎理2(対産	基本作図	作図	]操作(約	泉分∙消∌	ち・矩形	•中心線•複線)								
	基本作図	作図	]操作(P	9•円弧•	接円・持	<b>妾点・点</b> )								
8 金本作図珠作(様与・移動・ハラケト)・ジ・ラ月形・刻足) 10 基礎課題1(木造住宅) 図枠作成・レイヤ設定・配置図作成 11 基礎課題1(木造住宅) 配置図作成 13 基礎課題1(木造住宅) レイヤ設定・1階平面図作成 15 基礎課題1(木造住宅) 1階平面図作成 16 基礎課題1(木造住宅) 2階平面図作成 17 基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト 21 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成 22 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成 23 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成 25 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成 26 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成 27 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成 28 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成 29 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成 29 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 29 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 29 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定・ルテスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定・ルテスト 20 本種課題2(鉄筋コンクリート造) が面図作成・印刷設定・ルテスト	基本作図	作図	]操作(作	申縮・コー	-ナー・	面取•分割)								
10 参修課題1(木造住宅) 図督作成・レイヤ設定・配置図作成  11 基礎課題1(木造住宅) 配置図作成  13 基礎課題1(木造住宅) レイヤ設定・1階平面図作成  15 基礎課題1(木造住宅) 1階平面図作成・2階平面図作成  17 基礎課題1(木造住宅) 2階平面図作成  20 基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト  21 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成  23 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成  24 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成  25 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 9階平面図作成  26 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  27 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  28 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  29 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  20 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  3 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成  4 基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト  3 第 日内 専  1 記 題 50 96 作器課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。  2 授業姿多 30 96 作器課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。  2 投業姿多 30 96 作器課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。	基本作図	作図	]操作(剂	复写•移重	カトパラノ	メトリック・多角形	測定)							
12   本様課題1(不造住宅) 配置図作成   1階平面図作成   1階平面図作成   1階平面図作成   2階平面図作成   1階平面図作成   2階平面図作成   2階平面図作成   2階理題1(木造住宅) 2階平面図作成   2階課題1(木造住宅) 2階平面図作成   2位   2位   2位   2位   2位   2位   2位   2	基礎課題	課題	1(木造	i住宅)!	<b>図枠作</b> /	成・レイヤ設定・酢	B置図作成							
14	基礎課題	課題	1(木造	i住宅) i	配置図	作成								
16   基礎課題1(木造住宅) 1階平面図作成・2階平面図作成   17   18   基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト   21   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   23   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   25   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   25   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   26   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   27   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   29   30   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   20   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   20   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   20   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   20   基礎課題2(鉄筋コンクリート造)   30   20   基礎課題2(鉄筋コンクリート造)   30   30   30   30   30   30   30   3	基礎課題	課題	1(木造	i住宅)!	レイヤ詞	设定・1階平面図作	₣成							
18   基礎課題1(不適任宅) 2階平面図作成   2   基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   2   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 所面図作成   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) を   3   基礎課題2(大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大	基礎課題	課題	[1(木造	i住宅)	1階平面	面図作成・2階平面	面図作成							
基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト	基礎課題	課題	1(木造	i住宅);	2階平面	面図作成								
基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造)   断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造)   断面図作成   単位   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価項目/割合   東価内容   東価の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	基礎課題	課題	1(木造	i住宅)	建築概	要作成・印刷設定	、小テスト							
25	基礎課題	課題	[2(鉄筋	iコンクリ·	一卜造)	1階平面図作成								
基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト   評価項目/割合   評価 内 容   1. 課 題 50 %   作図課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。   1. 課 題 50 %   「欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。	基礎課題	課題	2(鉄筋	「コンクリ・	一卜造)	1階平面図作成								
29   基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト	基礎課題	課題	[2(鉄筋	iコンクリ·	一卜造)	2階平面図作成								
基礎課題2(鉄肋コングリート這) 断面図作成・印刷設定、小テスト   評価項目/割合   評価項目/割合   評価 内 容   1. 課 題 50 %   作図課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題 50 %   1. 課 題	基礎課題	課題	2(鉄筋	iコンクリ·	一卜造)	断面図作成								
1. 課題 50 %       作図課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。         2. 授業姿季 30 %       ①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。	基礎課題	課題	2(鉄筋	iコンクリ・	一卜造)	断面図作成・印	刷設定、小テン	スト						
評価									平価 内容	3				
価 2. 授業姿 30 % など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。 基									ラマの垣类	<u>に協力的</u>	か ②塩業中	こ白く思さ	√∓ <u>₩</u>	問 &=
牛   3. テストそ 20 %   小テスト						など自ら工夫し積極	的に授業に参加	しているか ⑤忘	れ物をしな	い以上	の観点から評	価。	<i>,</i> L、貝	ᆢᆙᄼ챠
					191 °		************							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検 定・課	味趣・アノ	ューア人	いへての他	一大たなこ)	<b>みしりして</b> れ	vzv /U以工Cし、 (仅来安	ਤਾ। <b>ਨ</b> ਹ∪70⊂ 9 <b>ਹ</b> ੰ							

科目	名	JWCAD I B						学期	後	期
担当	教員	小林 弘二	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		2
学習	目的	建築CAD検定2級相当の	の知識と作図スキ	ルの習得						
授業	内容	演習課題と実存建築物の	の作図演習							
学習	目標	建築CAD検定2級相当の	の知識と作図スキ	ルの習得						
使用テ	キスト	初めての建築CAD、建築	<b>桑CAD検定試験</b> 公	♪式ガイドブ _′	ック					
週数				授業	計画					
		AD検定2級の概要説明 果題1 作図準備								
3 4	演習認	<b>果題1 作</b> 図準備∙平面図作	成							
5 6	演習部	果題1 平面図・立面図作成	:							
7 8	演習認	果題1 立面図・断面図、概:	要作成							
9 10	演習認	<b>果題2 作</b> 図準備▪平面図作	成							
11 12	演習認	果題2 平面図・立面図作成	:							
13 14	演習認	果題2 立面図・断面図作成	:							
15 16	中間テ	テスト、応用演習説明								
17 18	応用濱	寅習1 実存建築物図面トレ	·一ス							
19 20	応用濱	寅習1 実存建築物図面トレ	·ース							
21 22	応用濱	寅習1 実存建築物図面トレ	ース、各自発表							
23 24	応用濱	寅習2 実存建築物図面トレ	·一ス							
25 26	応用濱	寅習2 実存建築物図面トレ	·一ス							
27 28	応用濱	寅習2 実存建築物図面トレ	·一ス							
29 30	応用濱	寅習2 実存建築物図面トレ	一ス、各自発表							
		評価項目/割合	<i>II.</i> ===================================			価 内 容				
評			作図演習課題の完成原 ①欠席・遅刻がないか			えの塔巻	こ協力的か	▲海業井	この 良く問キ マ	工 質問 祭章
価 基		受業姿勢 30 %	など自ら工夫し積極的	に授業に参加し	ているか ⑤忘れ	い物をしなし	ハ 以上の	観点から	評価。	-、只川、尤占
準		テストそ(20%	中間テスト							
日標快 定·課	課題	・テスト(その他検定など)はそれぞれ	120%以上とし、授業姿勢	は30%とする。						
	授業の	進捗度・理解度等により、授業実	施順番、内容を変更す	る場合があります	す。					

科目	名	AutoCAD II A						学期	前	期	
担当	教員	小林 弘二	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		2	
学習	目的	AutoCADの基本操作を	学び建築図面の何	作図方法を理	里解する						
授業Ⅰ	内容	基本操作の理解と作図	演習を通して図面	「作成に取り	組む						
学習	目標	基本操作の習得と木造の	住宅の各種図面が	が作成できる	5						
使用テ	キスト	AutoCADで学ぶ建築製	図の基本								
週数				授業	計画						
1 2	基本排	操作(AutoCADについて、基	-礎知識、基本コマン	ンド操作)							
3 4	基本排	操作(基礎知識、基本コマン	ド操作)								
5 6	基本掉	操作(基礎知識、基本コマン	ド操作)								
7 8	基本排	操作(基礎知識、基本コマン	ド操作)、小テスト								
9 10	作図簿	寅習(木造住宅) 配置図及	び平面図								
11 12	作図簿	寅習(木造住宅) 平面図									
13 14	作図簿	寅習(木造住宅) 平面図									
15 16	作図淳	寅習(木造住宅) 伏図及び	建築概要、図枠設)	定							
17 18	作図淳	寅習(木造住宅) 立面図									
19 20	作図淳	寅習(木造住宅) 立面図、	. 断面図								
21 22	作図淳	寅習(木造住宅) 断面図									
23 24	作図簿	寅習(木造住宅) 基礎伏図									
25 26	作図簿	寅習(木造住宅) 基礎伏図	-床伏図								
27 28	作図簿	寅習(木造住宅) 床伏図									
29 30	作図淳	寅習(木造住宅) 建築概要	及び図枠設定、まる	とめ、小テスト							
		評価項目/割合		<b>.</b>		価 内 容					
評価			作図演習課題の完成原 ①欠席・遅刻がないか			ラスの哲業	に協力的か	④授業由!	こ良く問き	メモ ^{佐 1}	問。登章
基			など自ら工夫し積極的	に授業に参加し	ているか ⑤忘	れ物をしない	ハ以上の	観点から評	価。	- C. F.	.~ /Ú E
準		テストそ(20% ·テスト(その他検定など)はそれぞれ	中間テスト	は30%とする							
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その		進捗度・理解度等により、授業実			<b>す</b> 。						

科目	名	AutoCAD II B						学期	後	期
担当	教員	小林 弘二	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		2
学習	目的	AutoCADの基本操作を	学び建築図面の作	作図方法を3	理解する					
授業	内容	作図演習と図面トレース	を通して図面作成	戊に取り組む	ì					
学習	目標	コンクリート造及び鉄骨	造の各種図面が作	作成できる、	実存建築の	図面知	識を学ぶ			
使用テ	キスト	AutoCADで学ぶ建築製	図の基本							
週数				授業	計画					
1 2	作図簿	寅習(鉄筋コンクリート造)	平面図							
3 4	作図簿	寅習(鉄筋コンクリート造)	平面図							
5 6	作図簿	寅習(鉄筋コンクリート造):	立面図							
7 8	作図簿	寅習(鉄筋コンクリート造)	断面図							
9 10	作図簿	寅習(鉄筋コンクリート造):	建築概要•図枠設定	2•印刷						
11 12	作図簿	寅習(鉄骨造) 平面図								
13 14	作図簿	寅習(鉄骨造) 平面図								
15 16	作図簿	寅習(鉄骨造) 立面図								
17 18	作図簿	寅習(鉄骨造) 断面図								
19 20	作図簿	寅習(鉄骨造) 建築概要・図	図枠設定・印刷							
21 22	演習詞	果題説明、演習課題(既存發	建築物図面トレース	)						
23 24	演習詞	果題(既存建築物図面トレー	-ス)							
25 26	演習認	果題(既存建築物図面トレー	-ス)							
27 28	演習詞	果題(既存建築物図面トレー	-ス)							
29 30	課題多	<b>论表、講</b> 評								
		評価項目/割合	<b>佐岡治初霊明</b> ← → →	±		価 内 容			_	
評			作図演習課題の完成的 ①欠席・遅刻がないか			ラスの授業	に協力的か	(4)授業は	に良く聞き、	メモ、質問. 発言
価 基		授業姿勢 30 %	など自ら工夫し積極的に							- 、 ス 同 、 元 日
準		テストそ( 20 % ·テスト(その他検定など)はそれぞれ	中間テスト 120%以上とし、授業姿勢!	は30%とする。						
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その		進捗度・理解度等により、授業実			<b>ਰ</b> .					

科目	名	建築図学IA							学期	前	期
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必	単位数		1
学習	目的	建築のパースを理解し	_作図出	来る							
授業		設計途中においてもな		要となる	イメージバ	ペースを理解	<b>翼し、クラ</b>	ライアント	・の要望	望を「絵」と	として具体
学習		建築パースの役割を (グリッド法)図法を使 る。内観パースに着色	ってパー	-スを描	ける。図面	īを使って室					
使用テ	キスト	新しいインテリアデザ	インの実	震技、だ.	れでもでき	る超簡単建	建築パー	-ス			
週数					授業	計画					
1	1 遠	近法の話									
2	2-1	簡単パースの話									
3	2-3	簡単パースの話									
4	2-4	簡単パースの話									
5	2-5	簡単パースの話									
6	2-6	簡単パースの話									
7	2-7	簡単パースの話									
8	2-8	簡単パースの話									
9	2-9	簡単パースの話									
10	3-1	パースを彩る話									
11	3-2	パースを彩る話									
12	3-3	パースを彩る話									
13	3-4	パースを彩る話									
14	4-1	投影図の話									
15	4-2	投影図の話									
		評価項目/割合	授業中の	課題、授業	業後課題の内	評 容と取組状況	価 内 容	}			
評		課題 70%				がなく受講マナ	一は良好	か、③授業	中によく	【聞き、メモー	質問、発言な
評価基準	2.	授業姿 30 %	ど自らエヺ	<b>失し積極的</b>		加しているか (					
準		テストそ 0%				+7					
日標 検定・ 課外 授業 生施	課題	・・テスト(その他検定など)はそれ	てれ20%以	上とし、授業	未安勢は30%と	9 ବ					

科目	名	建築図学 I B				学期	後	期	
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分専門 授業方法 演習	分類	選択必何	単位数		1	
学習	目的	建築の作図からパー	スを起こしプレゼンテーションができる	5					
授業	内容	インテリアデザインの	実技、製図、パース、模型、プレゼン	テーショ	ン。				
学習		建築図学 I Aからより るようになる。	J深くインテリアの焦点を当ててパース	(作図を	中心にフ	プレゼン	ノテーショ	ョンができ	
使用テ	キスト	新しいインテリアデサ	「インの実技、だれでもできる超簡単質	建築パー	-ス				
週数			授業計画						
1	1 イ	ンテリアデザインの実技	支、製図の説明						
2	2-2	インテリア要素の製図	(置き家具)						
3	2-2	インテリア要素の製図	(造作家具)						
4	2-3	インテリア空間の製図	(平面図)						
5	2-3	インテリア空間の製図	(断面図)						
6	2-3	インテリア空間の製図	(展開図)						
7	2-3	インテリア空間の製図	(天井伏図)						
8	3-2	アイソメ、アクソメ復習							
9	3-3	一点透視図復習							
10	3-3	二点透視図復習							
11	4-2	インテリア模型のつくり	り方①						
12	4-2	インテリア模型のつくり	り方②						
13	4-2	インテリア模型のつくり	り方③						
14	プレゼンテーション①								
15	プレも	<b>ジンテーション②</b>							
	1.	課題 70%	評 授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況	価 内 容	!				
評価		·····································	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナ ど自ら工夫し積極的に授業に参加しているか (						
基準		テストそ 0%	確認テスト、期末テストより評価			, <u> </u>			
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	     でれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
日候 検定・ 課外 業な									
宝施									

科目	目名 専攻ゼミⅡA				学期	前	期
担当	教員 伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法演習	分類 選択必	単位数		2
学習	目的 設計段階でインフィ	ルとスケルトンを	意識できるようになる	, ,			
授業	内容エスキス、模型作成	、図面作成、プ	レゼンテーション。				
学習	目標 時代の変化に対応し	出来るようリフォ	ーム、リノベーション語	受計を学び概要	を説明	できる。	
吏用テ	キスト※適宜プリント配布						
週数	•		授業計画				
1	ガイダンス、課題の説明(木		හ				
2	役割分担、コンセプト作成、	エスキス制作					
3	エスキス完成、模型製作開	—————————————————————————————————————					
4	模型作成	-					
5							
6	模型作成						
7	-0. 1% - > . Medial II-	e.					
8	プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション、講評	K.					
9		- M.					
	ガイダンス、課題の説明(Re 課題分析、資料集め	C造)					
11							
12	エスキス(構造の確認、コン エスキス(ラフ図面)	セプト設定)					
13							
	エスキス(ラフ図面)、ラフ図 ラフ図面・コンセプトの修正	面提出、コンセプ	[°] トの教員確認				
14							
15	図面作成 タイトル・コンセン 図面作成 平面図	プト					
16							
17	図面作成 内観パース 構図面作成 内観パース①						
18							
19	図面作成 内観パース① · 図面作成 内観パース① :						
20							
21	模型作成 部材枠取り						
22	模型作成 部材切抜						
23	模型作成 部材組合せ						
24	模型作成 細部作成						
	模型作成 部分修正						
26	模型作成 仕上げ						
27	プレゼンテーション資料作品	 t					
28	課題発表シミュレーション						
29	3v + 1 -#						
30	発表と講評						
	評価項目/割合	授業中の課題 揺	評 業後課題の内容と取組状況	価 内 容			
評	1. 課 題 70 %		いか、②私語がなく受講マナ	·一は良好か. ③桴当	き中によく	間き、メモ.	質問、発言な
価基	2. 授業姿 30 %		内に授業に参加しているか(				
準	3. テスト  0 %						
日標 検定・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 40 く 402070以上とし、	JK ዂ ጟ ታ I ዕ ፡ ሀ 70 C ሃ 'ᡚ o				
課外 授業 宝施							

科目	名	———— 専攻ゼミⅡB						学期	後	<u></u>	期
担当	教員	大間 崇太郎	RIS	科目区分専門	授業方法演習	分類	選択必	単位数		2	
 学習	目的	前期の授業の学習に	内容を	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	業では実際の木造住宅のリ	フォーム語	I 设計を行い	リフォー	-ムにつ	ついて学	<b>-</b> ≐んでいく。
授業	内容	数多くの情報を	収集	し必要な情報の	 のみを分析しオリジナ。	ルのプラ	ランニング	ブにま	とめる	5	
学習	目標	プランニング・デ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	ン・コンセプト	 をプレゼンテーションで	きる					
使用テ	・キスト	※適宜プリント配	記布								
週数					授業計画						
2		「ンス、課題の説明 分担、コンセプト作			失め						
3	エス ⁴ 模型(	Fス完成、模型製 ^c 作成	作開如	台							
5											
6	模型化	作成									
7	<b>-</b>	2 <b>)</b>	<i>  -</i>								
8		ジンテーション資料 ジンテーション、講		•							
9	L		<b>-</b> /-D0	<b>·</b> /牛 \							
		「ンス、課題の説明 分析、資料集め	ŋ(RC	道)							
11		(1#\#									
12		Fス(構造の確認、 Fス(ラフ図面)	コン・	セフト設定)							
13					-0 44 5 -4						
14		Fス(ラフ図面)、ラ ]面・コンセプトの(		面提出、コンセス	プトの教員確認						
15			- (								
16		作成 タイトル・コン 作成 平面図	ノセブ	<b>`</b> F							
17		作成 内観パース									
18	図面位	作成 内観パース	1 7	き書き							
19		作成 内観パース									
20	図面位	作成 内観パース	① ネ	<b></b> <b></b>							
21	模型化	作成 部材枠取り									
22		作成 部材切抜									
23	模型	作成 部材組合せ									
24		作成 細部作成									
25	模型	作成 部分修正									
26		作成 仕上げ									
27	プレル	ジンテーション資料	作成								
28		2ファーフョン員へ 発表シミュレーショ		•							
29	<b>5</b> % →		-								
30	(発表の	上講評									
	4	評価項目/割合		授業中の課題、摂	評 受業後課題の内容と取組状況	価 内 容	F				
評価		課題 70% 		①欠席や遅刻は	ないか、②私語がなく受講マナ	は良好	か、③授業	中によく	(聞き、	メモ、質	問、発言な
価基準		授業姿 30 % 		で目ら工夫し積極 確認テスト、期末・	的に授業に参加しているか テストより評価	少心れ物を	としていなし	、以上	の観点	から評価	Ш
			ご)はそ	 れぞれ20%以上とし	、授業姿勢は30%とする。						
日標 検定・ 課外 授業											
授耒 宝施											

科目	名	BIM I A							学期	後	期		
担当	教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数		2		
学習	目的	BIM (buildeing informati	on model	ing)と建	・ 築ビジュアラ	ライゼーション	の習得						
授業区	内容	Archicad及びTwinmotio	onの基本	操作の請	<b>講と実習</b>								
学習	目標	Archicad及びTwinmotio	onの基本	操作の習	習得・BIMデ-	ータの作成と	図面化•	CG/パース	ス(静止	画及び動	画)の作成		
使用テ	キスト												
週数					授業	計画							
1 2	-BIMホ -Arch	既説 icad概説											
3		操作の説明と実習 インツールの説明と実習①	)「壁・柱・ӭ	梁」									
5 6	・デザ	インツールの説明と実習の	∬床•屋根	・メッシュ	1								
7													
8	•デザ 	インツールの説明と実習の	③「階段•窓										
9 10	・ドキ <u>:</u>	ュメンテーションの説明と実習「線・寸法・立面図・断面図・展開図」											
11													
12	・モデ	ング実習①(建物Aの作成)											
13	じナ		#m A 40 132 3	= (14.)									
14	• ^ + -	ュメンテーション実習①(建	物Aの凶匠	111G <i>)</i>									
	▪属性	設定の説明と実習											
16													
17 18	・モデ	リング実習①(建物Bの作)	或)										
19													
20	•ドキ <u>-</u>	ュメンテーション実習②(建	物Bの図面	面化)									
21		ビジュアライゼーション概詞 icadレンダリング機能概説											
22		motion概説											
23 24	•Arch	icadレンダリング実習											
25													
26	•Twin	motion実習①(シーン及び	静止画作	成)									
27	• Toda	motion実習②(動画作成)											
28	- I WIII	motion关首公(勤闽TF成)											
29 30	•Twin	motion実習③(VR)											
		評価項目/割合					価 内 容						
	1.	課 題 70 %											
評 価 基 準	2. ‡	受業姿勢 30 %											
準	3	テストそ 0%											
日標快 定·課 外接 実施	課題	・テスト(その他検定など)はそれぞ	れ20%以上と	し、授業姿勢	は30%とする。								
定・その	<u> </u>												

科目	名	3DCAD IA								学期	前	期
担当	教員	熊谷	猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必何	単位数	1	
学習	目的	3DCADを用し	ハた3次元	デザインの	の基礎の	習得						
授業	内容	Rhinoceros(3	BDCAD)の基	基本操作	の講義と	実習						
学習	目標	Rhinoceros <i>0</i>	)基本操作(	の習得・3	3Dモデリ:	ングと図面(	作成・パラメト	・リックデ	゚゙ザインの	理解		
使用テ	キスト	「建築設計者	oためのF	Rhinocero	sJ							
週数						授業	計画					
1		AD及びRhinoc リング体験(イ)										
2		操作の説明と オブジェクトの										
3	・オブ	ジェクトの編集										
4	・レイ ⁻ ・グル	ヤー操作とマテ ープとブロック	・リアルの編: の作成	集								
5	・モデ	リング実習①(	イスBの作成	<u>.</u>								
6	•図面 •図面	化の概説 化実習①										
7	・テクス	スチャ作成の概	<b>証と実習</b>									
8	・モデ	リング実習②(	インテリアデ	ザインA)								
9	・図面	化実習②										
10	・モデ	リング実習③-	1(建物A)									
11	・モデ	リング実習③-	2(建物A)									
12	・図面	化実習③										
13	・パラ. ・基本	メトリックデザィ 操作の説明と:	ーーーー インとビジュア 実習	<b>゚</b> ルプログ	うミング 及	なびGrasshop	peer概説					
14	・ビジュ	ュアルプログラ	ミング実習(1	)(イスC)								
15	・ビジュ	ュアルプログラ	ミング実習(1									
		評価項目/割					評	価 内 容				
評		課題 70										
評価基準	2. }	授業姿勢 30 	%									
準		テストそ(0		1000/15/1-1	1 144 are ve +-	1+202/1-7						
日標快 定·課		・テスト(その他検定	·ゅc / はてれてオ	いとい物以上と	し、按耒安勢	140U%C9 る。						
外授業 実施予 定・その												

科目	名	BIM II A	学期	前	期
担当	教員	熊谷 猛 科目区分専門 授業方法 演習 分類 選択 4	<b>必惮位数</b>		2
学習	目的	BIMの実務(基本設計)への活用技術の習得	•		
授業	内容	Archicadを活用した基本設計の実習			
学習	目標	Archicadを用いた基本設計図の作成			
使用テ	キスト				
週数		授業計画			
1 2	-BIM	設計の説明 E用いた基本設計フローの説明 C(小規模RC住宅)の説明			
3	・実習	(環境設定, 敷地及び周辺環境入力, 通り心, ゾーン)			
5		の各部位の構成の説明 (壁,床,屋根)			
7					
8	・実習	(窓,ドア,階段,造作材,設備機器,その他)			
9	・実習 ・まと	(図面化) ※配置図・平面図・立面図・断面図 め			
11 12		表の説明 表実習			
13					
14	•建物 •実習	D(小規模木造住宅)の説明 (環境設定, 敷地及び周辺環境入力, 通り心, ゾーン)			
15 16	・実習	(壁,床,屋根)			
17 18	・実習	(窓,ドア,階段,造作材,設備機器,その他)			
19	・実習 ・まと	(図面化) ※仕上表・配置図・平面図・立面図・断面図, 設備機器表 め			
21					
22	•建物 •実習	E(中規模鉄骨造オフィスビル)の説明 (環境設定, 敷地及び周辺環境入力, 通り心, ゾーン)			
23 24	・実習	(壁, カーテンウォール, 床, 屋根)			
25 26	•実習	(窓,ドア,階段,造作材,設備機器,その他)			
27	・実習	(図面化) ※仕上表・配置図・平面図・立面図・断面図, 設備機器表			
29 30	・実習 ・まと	(ビジュアライゼ <i>ーショ</i> ン) め			
	, -	評価項目/割合 評価内容			
評価基		課 題 70 % 授業姿勢 30 %			
準	3	テストそ 0%			
日標快	課題	・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。			
定・課 外授業 実施予 定・その					

科目	名	BIM II B							学期	後	其	朝
担当	教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必何	単位数		2	
学習	 目的	BIMの実務(実施設詞	†) <b>への</b> 活用	技術の習	当得							
授業	内容	Archicadを活用した	実施設計の	実習								
学習	目標	Archicadを用いた実	施設計図の	作成								
使用テ	キスト											
週数					授業	計画						
1	•BIM₹	設計の説明 E用いた実施設計フロ-	-の説明									
2		C(小規模RC住宅)の研 表作成	ឱ認 ※前期と	:同一デー	タ							
3	•矩形	 図説明										
4		(矩形図作成)										
5		=* /m cm										
6		詳細図の説明 (平面詳細図作成)										
7												
		キュメントの説明 (照明設備入力,天井(	<b>犬図作成</b> )									
8												
9	•展開 •実習	図ツールの説明 (展開図作成)										
10												
11		図説明 (構造図作成)										
12	- 天日	(押足凶1F)以)										
13	·設備 ·宝翌	図説明 (設備図作成)										
14	・まと											
15	• 建物	F(中規模RC造マンショ	ン)の説明									
16	•実習	(環境設定, 敷地及び原	即辺環境入力	コ, 通り心,	ゾーン)							
17												
18	・ホット ・実習	・リンク説明 (モデリング①)										
19												
20	・実習	(モデリング②)										
21	・実習	(モデリング③)										
22												
23	・実習	(図面化①) ※基本図	〔仕上表∙配韻	■ 平面	図・立面図・▷	新面図)						
24												
25	・実習	(図面化②) ※詳細図	(矩形図. 平i	面詳細図.	天井伏図. 村	構造図. 設備原	図, 設備村	幾器表)				
26						HA HIT F	. see Hill li					
27	· <b>中</b> 羽	(図面4と②)				<b>-</b>						
28	天百	(図面化③)										
29	■宝型	·····································	······································									
30	·まと		· /									
		評価項目/割合				評	価 内 容					
評	1. [	果 題 70 % ————————————————————————————————————										
評価基準	2. ‡	受業姿勢 30 %										
準		テストそ 0%		1 feet after the con-	utaco t t =							
日標快 定·課	課題	・テスト(その他検定など)はそれ	いぞれ20%以上と	し、授業姿勢	いは30%とする。							
外授業 実施予 定・その												
			•									

担 学 授 学 使 用 数	目的 内容 目標 キスト	伏間 崇太郎 企業での体験実習を通 企業で通年で45時間以 就業体験を通して、業界	以上の就業体験を	「や就業に必		-ケーシ		単位数:つける		1
授業内 学習目 使用テキ	内容 目標 キスト	企業で通年で45時間以	以上の就業体験を				シを身に	つける	0	
学習目 使用テキ	きスト			行い、レポー	- ト担山レ祭3					
使用テ	キスト	就業体験を通して、業界	界理解を深め就職:		下延山と光	表を行う	0			
				活動に役立	てる。また実	習を通し	て自主性	生・主体	性・ビジネス	スマナーを習
週数	宇習現									
	実習現			授業	計画					
1 :	<u> </u>	見場にて個々のスケジュー	ルに合わせる(毎週	指定曜日)						
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13	_									
14										
15										
		評価項目/割合	インターンシップに参加	]する。事後レポ		価 内 容				
評		課題 70 % 	無欠席での参加。身だ							
評価基準		受業姿勢 30 % 	実習先評価							
準		テストそ・ 0 % ・テスト(その他検定など)はそれぞ;		/ <b>ナ</b> 2004 レ <del>ナ</del> フ						
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その		・テスト(その他検定など)はそれその	1,620.70以上CU、授業 <b>会</b> 勢	I&3U70⊂9 So						

# 当	科目	名	インターン	シッフIA						学期	後	期
投票内容	担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数		1
学習目標     就業体験を適して、業界型規を深め試験活動に役立てる。また実習を適して自主性・主体性・ビジネスマグ 使用テキスト       複数     投棄計画       1 実習規模にて割々のスケジュールに合わせる(毎週梅定提目)       2       3       4       5       6       7       8       9       10       11       12       13       14       15       2       2       2       3       4       5       6       7       8       9       10       11       12       13       14       15       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       10       11       12       13       14       15       2       2       1       2     1       2     2       3     2       4     4       5     5       6     6       7     6       8 <td< th=""><th>学習</th><th>目的</th><th>企業での体</th><th>- 体験実習を通</th><th>して実践的な技術</th><th>- 情や就業に必</th><th>ン要なコミュニ と</th><th>ニケーシ</th><th>ョンを身に</th><th>こつける</th><th>)_o</th><th></th></td<>	学習	目的	企業での体	- 体験実習を通	して実践的な技術	- 情や就業に必	ン要なコミュニ と	ニケーシ	ョンを身に	こつける	) _o	
使用キスト   投票計画   投票計画   投票計画	授業	内容	企業で通年	 Fで45時間以	以上の就業体験を	∵行い、レポ-	ート提出と発	表を行う	, ,			
通数   投棄計画	学習	目標	就業体験を	 F通して、業界	 界理解を深め就職	活動に役立	 てる。また実	習を通	して自主	生・主体	<u></u> 性・ビジネ	ペスマナーを
大震視場にて個々のスケジュールに合わせる(毎辺指定簿目)   2   3   3   4   5   5   6   7   7   8   9   9   10   11   12   13   14   15   14   16   16   17   17   18   17   19   19   19   19   19   19   19	使用テ	・キスト										
2 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 10 11 11 12 12 13 14 世界	週数					—————— 授業	禁計画					
3	1	実習現	見場にて個々	゚゚゚゚゚のスケジュー	ルに合わせる(毎週	<b>週指定曜日</b> )						
1	2											
5	3											
10   11   12   13   14   15   15   17   16   17   17   17   17   18   18   19   19   19   19   19   19	4											
7	5											
8 9 10 11 11 12 12 13 14 15 15 17 18 18 17 19 18 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	6											
9 10 11 12 12 13 14 15 15 16 17 18 18 18 70 96 17 18 18 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	7											
10	8											
11	9											
12 13 14 15    評価項目/割合   評価 内 容	10											
13	11											
14	12											
評価項目/割合   評価 内 容	13											
評価項目/割合	14											
1. 課題 70 %       インターンシップに参加する。事後レポート・発表。         評価 基準       無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。         3. テストそ(0 %)       実習先評価         環題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。         目標快定・課 外授業実施予       夏季休暇中を想定。	15											
					インターンシップに参加	加する。事後レオ		価 内 容	!			
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。   日標検定・課   外授業 夏季休暇中を想定。	評											
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。   日標検定・課   外授業 夏季休暇中を想定。	価 基											
日標快 定・課 外授業 夏季休暇中を想定。 実施予	準 					\$/+2004 L+7						
元・ケ()	定·課 外授業	夏季休		<u>く</u> たなど ハ <b>ふそれぞ</b> り	162070以上Cし、授業 <b>会</b> 勢	₉₁ 43U%C9 &。						

科目	名	課題解決学	習IA							学期	前	期	
担当	<b>教員</b>	伏間:	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1	
学習	目的	まちづくりを	考える	•					•				
授業[	内容	実践を交え	てより深く考	えていく									
学習	目標	地域の関係	企業と連携	し建築・鴻	則量現場	においての	課題調査、研	研究、提	案を行う				
使用テ	キスト												
週数						授業	計画						
1	射水市	万内空き家調	査、ヒアリング	、現場調	査、まとめ								
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
	, .	評価項目/割		実習先か	いらの評価	「をもとに算		価 内 容					
評			%		どから第								
評価基準		受業姿勢 30		/m <del></del> ′∂	- こ /3 ⁻ つ <del>対</del>	- <b></b> -							
準		テストそ(0		2004 1911	122 <del>31</del> 4 \45 ±+	1+200/ L+7							
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その	<b></b>	・テスト(その他検)	<b>ビ</b> はC / はてれそれ	620物以上と	し、仅耒安勢	i&vU%⊂9 る。							

科目	名	課題解決字省IB						学期	後	其	玥
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1	
学習	目的	まちづくりを考える									
授業Ⅰ	内容	実践を交えてより深く考	えていく								
学習	目標	地域の関係企業と連携	 し建築・測量現	 見場においての	課題調査、研	开究、提	 案を行う				
使用テ											
週数				—————————————————————————————————————	計画						
1	射水市	方内ヒアリング、プランニング	ブ、プレゼンテー	-ション							
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
		評価項目/割合	宝型失からの	評価をもとに算		価 内 容					
評	1. [	課題 70%			-ш						
評 価 基 準	2. }	受業姿勢 30 %	出席率などか	り昇口							
準		テストそ(0%									
日標快	課題	・テスト(その他検定など)はそれぞれ	120%以上とし、授業	姿勢は30%とする。							
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その											

科目	名	課題解決:	字省ⅡA						学期	前	期	
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1	
学習[	目的	まちづくりる	を考える					•	,			
授業区	内容	実践を交え	えてより深く考	えていく								
学習	目標	地域の関係	係企業と連携	し建築・測量球	見場においての	課題調査、研	开究、提:	案を行う				
使用テ	キスト											
週数					授業	計画						
1	空き家	『活用方法に	こついて考える。	•								
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
	, -	評価項目		実習先からの	評価をもとに算		価 内 容					
評			70 %	出席率などか								
評 価 基 準		受業姿勢 3										
华		テストそい		1000/1511-1111-11111	<b>6次</b>							
日標快 定・課 外授業 実施予	<b></b>	- ) ヘト( ての他を	火止など川はそれぞれ	<b>レ</b> ՀU物以上とし、授業	後勢は30%とする。							
夫他予 定・その												

科目	名	課題解決学習ⅡB						学期	後	期
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習	目的	まちづくりを考える	1					I I		
授業区	内容	実践を交えてより深く考	えていく							
学習[	目標	地域の関係企業と連携	し建築・測量現場	においての	課題調査、研	T究、提到	案を行 <b>う</b>			
使用テ	キスト									
週数				授業	計画					
1	今まて	の成果をまとめプレゼンテ	・ーションする							
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	4 =	評価項目/割合	実習先からの評価	iをもとに算		価 内 容				
評		果題 70%	出席率などから算							
評 価 基 準		受業姿勢 30 %	- 5,							
		テストそい 0 % - テスト(その他検定など)はそれぞれ	120%以上とし、授業姿勢	は30%とする。						
日標快定・課										
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その										

,a :	£			- 7 9 1 2		一味住で 送が			Τ			
科目		表現力IA					I.,			学期	前	期 
担当教		長谷川万葉		科目区分		授業方法		分類		単位数		1
学習目			て、相手に伝わ									- 什杂また日生
授業四		す。	、、									
学習目		関わりの中で	でコミュニケーショ	ン能力を高	める。自由	お発想力や表	現力、人前で					- 100 10 10 10
	キスト	オリジナル・	テキスト、楽譜等	(授業内容	ぶに合わせ							
週数						授	<b>業計画</b>					
1	イントロ	コダクション~	自己紹介、授業区	内容の説明	0							
2	シアタ	ーゲームとコミ	ミュニケーショント	レーニング								
3			であり、既成のスタ	ィイルやテク	ニックのな	いコンテンポ・	ラリーダンスを	⊱学ぶ。言葉の	のいらない表現	現の世界	,体を使っ	たコミュニケー
4			であり、既成のスタ	イルやテク	ニックのな	いコンテンポ <del>・</del>	ラリーダンスを	そ学ぶ。言葉の	のいらない表現	現の世界	早、体を使っ	たコミュニケー
5			であり、既成のスタ	イルやテク	ニックのな	にいコンテンポ <del>・</del>	ラリーダンスを	∵学ぶ。言葉の	のいらない表現	現の世界	早、体を使っ	たコミュニケー
	演劇① 演劇で	劇① 劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇) やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。										
	演劇(2 演劇で	劇② 劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。										
	演劇③ 演劇で	[劇③  劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇) やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。										
9	中間発	卷表										
	ソング [®] 歌と音		声の表現を学ぶ。									
	ソング [®] 歌と音		声の表現を学ぶ。									
12	対話① 対話を	) :学ぶ。 他者と	関わる。									
	対話② 対話を	〕 ∶学ぶ。他者と	:関わる。									
14	グルー	-プ発表										
15	 発表											
		評価項目	/割合					評価内容				
評	1. 請	果題	30 %			なり組み、課題提 		ह्या <u>काल</u>	<b>建板炉 1+ 1 7</b>	<i>1</i> , <i>4</i> , <i>4</i> , <i>−</i>	⊕ <u>+</u> 1-41-1^1	
価 基	2. ‡	受業姿勢	30 %	以上の観点が	から評価する	語態度 ③前向: 。 等。発表の出来、						ι \D\
準		テストその					くこに土のよ じ		バメガで脳口的	·一丁1四19·	<b>v</b> 0	
ョ 標快 ミ・課外 業実施 ジェ・そ			をなど)はそれぞれ20% 等により、授業実施順									

建築・デザイン 学科 1 年

科目	名	NIB I A									学期	前	期
担当教	<b>教員</b>	長谷川 万葉	木村 聡	黒田 哲也	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習[	目的	メディアに対 グループ討	対する知	識理解を深 社会性、創造	」 め、情報を 告性、国際性	<u>-</u> 読み取る力 tを身につ(	を高める。地域 ける。	或社会の課題を <b>学</b>	さぶとともに	こ、読解力、	思考力、ス	_{プレゼンテー}	ション能力、
授業区	内容							えを深め、文章に	まとめてす	<del></del>			
学習目	目標	自分の考えし、問題発			すく伝えるこ	ことが出来る	る。言葉や文章	で簡潔に要点を	伝えること	ができる。 資	料を調べ	たり人の意	見を聞いたり
使用テ	キスト	新聞を教材											
週数		l					授業	計画					
1	メディア	論①メディア	の特性を	学び活用する	3								
2	メディア論	紀新聞の読	み方。グル	ループスクラ・	ップ								
3	メディア論	③文章の要	約、見出	し付けで読解	!カアップ								
4	メディア論	6 <b>④文章</b> カア・	ップ、小誦	(主) ネット ネット ネット ネット かっぱい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい									
5	ご当地村	検定に挑戦											
6	地域の詞	課題を学び	意見交換	4、発表①									
7	地域の詞	課題を学び	意見交換	9、発表②									
8	地域の詞	課題を学び	意見交換	4、発表③									
9	地域の詞	課題を学び	意見交換	4、発表④									
10	ミニ新聞	骨を作ろう											
11	18歳選	挙権を考える	<b>)</b>										
12	若者の持	投票率を考え	ið										
13	1分間ス	ドピーチ、ミニ・	ディベート	`									
14	グループ	プディスカッシ	/ョン										
15	グループ	プ単位による	プレゼン <del>・</del>	テーション									
	. ==-		目/割合		提出物			評	価 内 容				
評	1. 課		30 %			りなコミュニケー	-ションが出来る。						
評 価 基 準	2. 授	業姿勢 ————	30 %		発表								
準		ストその他		71- 22-11		20/1-7							
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他				いぞれ20%以上と 内容が前後する。		J%とする。 -							

科目	名	キャリア支	:援 I A							学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習	目的	就職活動で	で早期内定を	獲得でき	るよう、国	自己分析や:	企業研究など	ごの準備	を進める	0		
授業	内容	テキストに	扱われる内容	『を理解し	し、ワーク	シート等に	取り組む。					
学習	目標	1年次の終		自己分析	f·企業研	究を完成さ	 せ、2年次か	らの説明	用会参加か	常金業	訪問に備え	 こる。
使用テ	キスト	建築学生の	 の「就活」完全	マニュア	····································	プリント配右	<u>,</u>					
週数						授業	計画					
1	自分力	がどういう人ス	か考える(自分	史)								
2	自己分	分析										
3	自分な	がどうしたいぇ	か考える(未来	史)								
4	自己分	}析(まとめ)	)									
5	キャリ	アを考える										
6	建築・	建設業界へ	の就職に向け	て、就活ス	スケジュー	ル、情報収負	in the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of th					
7	業界研	研究①										
8	業界研	开究②										
9	企業研	开究										
10	インタ	ーンシップに	こついて									
11	エント	リーシート対	<b> 策①</b>									
12	エント	リーシート対	<b> 策②</b>									
13	自己P	PR(プレゼン)	)									
14	履歴書	書対策①										
15	履歴書	<b>書対策②</b>										
		評価項目/		実習先から	の評価をも	とに算出	評	価 内 容				
評			70 %	出席率など								
評価基準	2. 3	受業姿勢 3	80 %		5774							
準		テストそ(		1000/1917	1 177 alle ver +-	1+200/1						
日標快 定・課 外授施予 定・その	<b>詳</b> 題	・ナスト(その他村	<b>食定など) はそれぞ</b> ł	に20%以上と	し、	⊓よა∪%とす්る。						

科目	名	キャリア支援 ]	ΙΒ						学期	後	期	
担当	教員	伏間 崇	太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1	
学習	目的	就職活動で早	期内定を	獲得できるよう、E	自己分析やか	企業研究など	どの準備	を進める	0			
授業	内容	テキストに扱わ	つれる内容	字を理解し、ワーク	シート等に	取り組む。						
学習	目標	1年次の終わり	りまでに、	自己分析·企業研	究を完成さ	せ、2年次か	らの説明	会参加な	か企業	訪問に備え	<b>こ</b> る。	
使用テ	キスト	建築学生の「京	就活」完全	マニュアル、適宜	プリント配布	<del>,</del> ,						
週数					授業	計画						
1	インタ・	ーンシップの振り	り返りまとめ	り、学生内情報交換	Į							
2	SPI適 [′]	性検査について										
3	面接対	才策① ※個別i	面接、グル	レープ面接のロール	レプレイ							
4	面接対	才策② ※個別i	面接、グル	レープ面接のロール	レプレイ(栲	<b>換面接</b> )						
5	面接対策③ ※個別面接、グループ面接のロールプレイ(模擬面接)											
6	面接対	面接対策④ ※個別面接、グループ面接のロールプレイ(模擬面接)										
7	面接郊	面接対策⑤ ※個別面接、グループ面接のロールプレイ(模擬面接)										
8	求人情	求人情報の収集① 求人サイトへの登録										
9	求人情	情報の収集② :	企業説明会	≩への参加								
10	求人情	情報の収集③ ·	ハローワー	−ク、人材派遣会ネ	性の活用							
11	企業訂	5問の仕方										
12	4月以	降の企業説明会		問のスケジュール								
13	Bit 求	人票の確認と応	募の検討									
14	企業概	我要の研究 (1) S	SWOT分析	Ť								
15	企業概要の研究 (2) 企業理念、社史等による企業研究											
	4 =	評価項目/割合		実習先からの評価	<b>画をもとに算</b>		価 内 容					
評		果題 70 %		出席率などから算								
評価基準		受業姿勢 30 %										
<del>'                                    </del>		テストそ(0%) 		120%以上とし、授業姿勢	·は30%とする。							
日標検 定・課 外授業 実施予 定・その												

科目	名	キャリア支	援ⅡA ——————						学期	前	期
担当	教員	伏間	崇太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習	目的	就職活動で	早期内定を獲	得できるよう、自	己分析や企	業研究など <i>の</i>	準備をす	すすめる			
授業	内容	企業説明会	や会社訪問の	スケジュールに基	づき、業界	研究や企業研	T究を行い	ハ、エント	・リーシ	ートや履歴	書の作成を
学習	目標	2年次の12	2月末までにク	ラス全員が就職内	]定を獲得す	3					
使用テ	キスト	適宜、資料	料を提供する	)							
週数					授業	計画					
1	4月以	降の企業説	明会や会社訪	問のスケジュールの	0確認①						
2	4月以	降の企業説	明会や会社訪	問のスケジュールの	D確認②						
3	Bit 求	人票の確認	と応募の検討								
4	企業概	既要の研究(	D								
5	5 企業概要の研究 ②企業理念、社史等による企業研究										
6	履歴書	書の完成と面	ī接対策(志望	星動機)							
7	履歴書の完成と面接対策(自己PR)										
8	履歴書	書の完成と面	ī接対策(趣呀	<b>卡特技</b> )							
9	会社訂	<b></b> 問の手順と	:心構え①								
10	会社訂	<b></b> 問の手順と	:心構え②								
11	筆記訪	<b>式験対策①</b>									
12	筆記詞	試験対策②									
13	面接対	才策①									
14	面接郊	対策②									
15	面接郊	対策③									
		評価項目/		実習先からの評価	「をもとに質		価 内 容				
評			0 %	出席率などから第一							
評価基準		受業姿勢 30		14444614799	-ш						
準		テストそ( )		120%以上とし、授業姿勢	<b>/+3004 レナ</b> マ						
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その	<b>林</b> 題	<b>・ハバての他</b> 様	ххсов <u>с</u> / 1d で4bで7	vev /v以上Cし、仅未安勢	1500 /UC Y O.						

科目	名	キャリア支援 II B						学期	後	期
担当	教員	伏間 崇太郎	科目区分専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習	目的	就職活動で早期内定を獲	 得できるよう、自	  己分析や企	業研究などの	準備をす	ナすめる	· · · · · · · ·		
授業[	内容	企業説明会や会社訪問の	 )スケジュールに基	でき、業界	研究や企業研	T究を行し	ヽ、エント	・リーシ	一トや履歴	<u></u> ≛書の作成を
学習	目標		フラス全員が就職内	N定を獲得す	る					
使用テ	キスト	<u></u> 適宜、資料を提供する	, 5							
週数					計画					
1	インタ	ーンシップの振り返り、学生	<b>上間情報交換</b>							
2	個別文	対応								
3	個別文	対応								
4		1 0月以降の企業説明会等 S自の就職活動の立案	<b>等のスケジュール</b> 研	隺認						
5	個別文	対応								
6	個別文	対応								
7	個別文	対応								
8		1 1月以降の企業説明会等 各自の就職活動の立案	<b>等のスケジュール</b> 研	<b>雀認</b>						
9	個別文	対応								
10	個別文	対応								
11	個別文	讨応								
12		1 2月以降の企業説明会等 S自の就職活動の浸食状況								
13	内定獲	隻得後の在留資格変更申請	青手続き							
14	個別文	対応								
15	個別文									
	1 =	課題 70 %	実習先からの評価	面をもとに算		価 内 容				
評			出席率などから第	〕						
評価基準		受業姿勢 30 %								
		テストそ( 0 % ·テスト(その他検定など)はそれぞれ	した。 120%以上とし、授業姿勢	は30%とする。						
日標快 定・課 外授業 実施予 定・その										

建築デザイン 学科 年

科目名	3	 データマーケティ	ングIA						学期	前	期
担当教員		 清水 大樹		科目区分 一	般 授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習目的		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー								<u>.</u> ティングを進	める上で必要なデータの取り扱いに関
		ゥ るな品 で REC  ビッグデータの分							-70°		
学習目標	票	マーケティングの	基礎知識を	習得し、専門用	語が理解できる	。 基本的手	法や技法	とを、具体的	事例に当	 4て嵌めて考	 たえることができる。
 使用テキス	<b>スト</b>	 データマーケター	 -養成講座	 初級編							
週数							 \$計画				
1	・講座の ・講座の ・用語の	テーション 進め方と受講の心 目的とゴール(則 説明 マーケターとは			学ぶ)						
2	・ビッグ・ビッグ	ータとは データとは データの利用・間 を取り巻く環境の									
3	・データ・データ	用 活用のステップ の種類(自社デ- から何が読み取れ ウレコンの使い	<b>ぃるか?デー</b>								
4	・データ・グラフ	ハンズオン① クマーケティングドの種類とそれぞれウレコンの表を過	こ必要なEXC 1の使い方を	EL操作(グラフ <del>-</del> 知る		一に説明すん	<b>ა</b>				
5	ドルフィ	ク&GW〉ウレコン ンアイから、デー うフを作成し、そ	-タをダウン	ノロードする。		`ループで協詞	議、共有	して全体に	発表する		
6	• 散布区	·ハンズオン②  間  の作り方 ・相間 ·ク〉ドルフィンフ	関係数の意味	・相関と因		数を出して、	、2つの事	事項に相関だ	があるか半	削断する	
7	· 利用者 · 問題解	のための思考法 への共感から問題 決のためのアイラ の提出とフィー	ディア出し		ーミング)						
8	・データ ・小売を	用と各業界 の利用といろいる ベースに講座が近 ルドワーク(宿長	進行している		業界でもデータ	活用がこれが	からのマ	ーケティン	グの基礎	になること	を知る。
9		タ ① ータとはなにか ータの分析の方法		タがい 分析の重要性	・〈ワーク〉	ロコミサイ	トとPOSラ	データ			
10	・POSデ-	タ ② ータの比較 ーから見えること POSデータのサン	_	の数字に注目す	⁻ るか?						
11	POSデー? ・POSデ- ・〈PW〉 ・売上げ	- タから見えるこ 折れ線グラフから	と② ら何が読み取	スれるか?							
12	・事前に	・ドワークの発表 課題として与えて 発表する。	ておいた近所	īのドラッグス	トアやスーパー	·の調査(どん	んなもの	が売ってい	るか?ど	んな売り場	構成をしているか?競合店舗はあるか?
13		サンプルデータる はなにかを発表す		ブラフ作り、売	れ行きのよいカ	テゴリはない	こかを見	つける。グ	ループ内	で協議・共	有して、そのカテゴリを見つけたポイン
14		サンプルデータ る ンを行なう。	と分析して売	らり場に何を置	いたらよいかを	選定し、全(	本に発表	する。他グ	ループの	差を見つけ、	、選定方法や方針の違いについてディス
15		ンを行なう。	─ <u>─</u> ── を分析して売	らり場に何を置	いたらよいかを	――― 選定し、全f	本に発表			<u>ーー</u> 差を見つけ、	、選定方法や方針の違いについてディス
	1. 課	評価項目/割合 <b>題</b> 30	%	ワークシート等の レポート等の状況				評価	内容		
≘∓r <del>/m</del> r <del>rt/</del> r**	2. 授第	· <del></del>	%		積極性 、授業に取	い組む姿勢、	締め切りの	)厳守を評価す	る。		
評価基準			%		の評価、グループワ スト及び 期末試験		ŧ				
		(その他検定など)はそ	それぞれ20%以上								
目標検定・課外授 業実施予定・その 他											
1世	1										

建築デザイン 学科 1 年

科目名	データマーケティング I B						学期	後	期
担当教員	清水 大樹	科目区分 -	一般  授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習目的	マーケティングの基本的な扱いに関する知識・技能と								る上で必要なデータの取り
授業内容	データマーケティングの基礎	礎をおさえ、ドル	フィンアイ等のビッ	グデータを活	舌用し、デ	ータの分析	を行う。		
学習目標	マーケティングにおけるデ-	ータの取り扱いに	こついて学び、実際	の事例やテ	ータを題	材にして、	仮設を立 ⁻	て分析するこ	とができる。
使用テキスト	データマーケター養成講座	初級編							
週数				授業計画					
1	マーケティングの基礎① ・マーケティングとはなにか ・マーケティング1.0~4.0 ・マーケティングの4P								
2	ID-POSデータ ① ・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①								
3	ID-POSデータ ② ・売上げを構成する要素(因数分解 ・〈ワーク〉売上げ分解ツリーを作								
4	ID-POSデータ ③ ・購入率とリピート率 ・売れ続ける商品								
5	マーケティングの基礎② ・これからのマーケティング								
6	ID-POSデータ ④ ・併売とはなにか(考え方の基礎) ・リフト値 ・〈ワーク〉リフト値を求めてみよ								
7	実習 ④ ・〈ワーク&GW〉RESASに触れてみる	る。ドルフィンア	'イを駆使してテー ⁻	マに沿ったテ	ータを探	∛し、仮説を	たて、グ	ループとして	発表する。
8	外部データの利用 ① ・外部データとはなにか ・気象データの利用								
9	外部データの利用 ② ・〈ワーク&GW〉サンプルデータか ・ウェザーマーチャンタイジング ・商品前線	ら商品を確定し、	、どうしてその商品	に決めたの	かを協議	・発表する。			
10	実習 ⑤ ・〈ワーク&GW〉外部データを利用	した売り出し時期	期の選定						
11	マーケティングの基礎③ ・代表値について(平均・中央値・ ・(GW) ペルソナを作ってみる	最頻値)							
12	課題発見と提案 ① ・〈ワーク&GW〉与えられたデータ	を分析し、ペルン	ソナを作成して課題	を解決する。	0				
13	課題発見と提案 ② ・ 〈GW〉分析のまとめを行い、発表	長準備にとりかか	いる(発表用の模造組	紙作成とグル	ノープ内で	の発表の予	行演習)		
14	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対する=	コメント							
15	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対する=	コメント							
	評価項目/割合		の状況を評価する。			評価内容			
	1. 課題 30 %	レポート等の状		リ組む姿勢. 糸	締め切りの!	厳守を評価する	<b>3</b> 。		
評価は準	2. 授業姿勢 30 %		での評価、グループワー			их · 3 С п п ш У ·			
	3. テストその他 40%	各章ごとの確認	プラスト及び 期末試験	ァ 、 い 励 月 茂					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20	%以上とし、授業姿勢	学は30%とする。						
標検定・課外授業実施予 定・その他									

建築デザイン 学科 2 年

科目名	データマ	ーケティング <b>I</b> A						学期	前期
担当教員	清水・松	島	科目区分 一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	地域の誤	<b>関や企業ニーズを</b>	踏まえて、学生のア	イデア発想	を実際のビシ	ジネスに実	装できる		
授業内容	最新のビ	最新のビッグデータを活用した「データマーケティング実践教育」を学生が経験する							
学習目標	学生が、	提案プランについて企業からのフィードバックをいただき、自分たちの活動を振り返ることにより、データマーケティングに関する認識の向上を図る 学生が、True Dataの生活者ビッグデータと地域の小売業店舗のデータマーケティングを活用し、地域に住みながら、健康な暮らしを楽しめる生活環境づくり をプランニングする							
 使用テキス									
週数					授	業計画			
1	オリエンテーショ 顧客理解について								
2	射水市クラスター 射水市クラスタの								
3	対水市クラスタの読み込み 【GW】演習 発表資料の作成								
4	射水市クラスタの読み込み 【GW】演習 発表資料の作成								
5		水市クラスタの読み込み GW】演習 発表資料の作成							
6	射水市クラスタの 【GW】演習 発表	クラスタの読み込み 演習 発表							
7	射水市クラスタの 【GW】演習 発表	水市クラスタの読み込み GW】演習 発表							
8	【FW】店舗視察	M】店舗視察							
9	企業課題やテーマ 自社にて保有して	-タ提供の企業概要 注課題やテーマ たにて保有しているデータと実活用の実態について な的な販促手段や販促の考え方							
10	課題解決方法の整理の仕方、使用するフレームワークの説明 1. 企業課題と生活者課題を踏まえる事について 2. カスタマージャーニーマップ作成 3. 5W1Hで具体的な施策に落とし込む								
11	【GW】 課題解決方法の立案の仕方について 活用するデータ(射水市クラスタ、企業データ)の説明 5 W1Hを活用した立案方法についての説明								
12	【GW】 課題解決方法の立案の仕方について 活用するデータ(射水市クラスタ、企業データ)の説明 5W1Hを活用した立案方法についての説明								
13	【GW】 課題解決方法の立案の仕方について 活用するデータ(射水市クラスタ、企業データ)の説明 5W1Hを活用した立案方法についての説明								
14	企業課題やテーマ 【GW】演習 発表								
15	企業課題やテーマ 【GW】演習 発表								
		項目/割合	ワークシート等の状				評価	内容	
	1. 課題	30 %	レポート等の状況を 出席状況、発言の積		取り組む姿勢、	締め切りの	)厳守を評価す	⁻ る。	
評価基準	2. 授業姿勢	30 %	プレゼン 発表での評	価、グループ「	フークでの協力	度			
	3. テストその付課題・テスト(その他検	<b>也 40 %</b> 定など) はそれぞれ20%以	上とし、授業姿勢は30%	<u></u> とする。					
目標検定・課外授 業実施予定・その				- *					
他									

建築・デザイン 学科 *コースを選択してください(DELで消去)**

年

ICT演習ⅡA 科目名 学期 前 期 科目区分 専門 非常勤 担当教員 授業方法 演習 必修 単位数 分類 1 学習目的 企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。 企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。 授業内容 学習目標 エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。 使用テキスト 全学科:30時間でマスター Excel2013(Windows8対応)インターナショナルを除く学科:日商PC検定試験 データ活用3級公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応田商 授業計画 週数 第1章Excelの基礎知識 第2章Excel入門 第3章ワークシートの活用(1) 第3章ワークシートの活用(1) 5 第3章ワークシートの活用(1) 第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照 第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照 7 第4章ワークシートの活用(2) 端数処理 8 第4章ワークシートの活用(2) 端数処理 第4章ワークシートの活用(2) IF関数 11 第4章ワークシートの活用(2) IF関数 第5章グラフ(1) 12 13 第5章グラフ(2)複合グラフ 14 第7章データベースオートフィルタ・並べ替え 前期確認テスト 15 評価項目/割合 評価内容 各授業における課題提出(期限厳守) 1. 課 題 40 % 確認テスト結果 評 授業への積極参加 クラスへの協力度 価基 2. 授業姿勢 30 % 教科書、パソコンその他忘れ物の有無 検定を受験する学科は検定結果 準 3. テストその 30 % 受験しない学科はテスト結果 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検定・ 課外授業

日商PC検定データ活用3級

実施予定・ その他 建築・デザイン 学科 *コースを選択してください(DELで消去)**

年

科目名 ICT演習ⅡB 後 学期 期 科目区分 専門 担当教員 非常勤 授業方法演習 分類 必修 単位数 1 学習目的 企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。 企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。 授業内容 学習目標 エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。 使用テキスト 全学科:30時間でマスター Excel2013(Windows8対応)インターナショナルを除く学科:日商PC検定試験 データ活用3級公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応田商 授業計画 週数 前期範囲の復習 日商PC検定3級の概要・演習問題 日商PC検定3級の概要・演習問題 日商PC検定3級の概要・演習問題 5 日商PC検定3級の概要・演習問題 日商PC検定3級の概要・演習問題 7 日商PC検定3級の概要・演習問題 8 日商PC検定3級受験 第7章データベース※ピボットテーブル追加 第8章Excelの応用 VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX 第8章Excelの応用 データベース関数・条件付き集計 11 12 日商PC検定3級対策 13 日商PC検定3級対策 14 日商PC検定3級対策 15 日商PC検定3級対策 評価項目/割合 評価内容 各授業における課題提出(期限厳守) 1. 課 題 40 % 確認テスト結果 評 授業への積極参加 クラスへの協力度 2. 授業姿勢 価基 30 % 教科書、パソコンその他忘れ物の有無 検定を受験する学科は検定結果 準 3. テストその 30 % 受験しない学科はテスト結果 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検定・ 課外授業 日商PC検定データ活用3級 実施予定•

その他

建築・デザイン 学科 **コースを選択してください(DELで消去)**

2

年

科目名 ICT活用ⅡA 学期 前 期 科目区分 専門 授業方法 演習 単位数 非常勤 分類 必修 担当教員 1 企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする 学習目的 VRシステムを使用し新たなプレゼン技法を身に付ける 授業内容 学習目標 グループ作成をとおして課題解決力、コミュニケーションカ向上を目指す 使用テキスト unityでつくる建築VR入門 週数 授業計画 unityの導入 unityとは unityの動作環境 unityhubインストール unityの軌道とプロジェクトの作成 6 VRの基礎知識 unityについて シーンビューの視点操作 オブジェクトの操作 10 スクリプトの操作 簡単なゲーム作成 11 12 簡単なゲーム作成 13 グループ作成 14 グループ作成 15 作成物発表 評価項目/割合 評価内容 課題レポートの提出 1. 課 題 30 % 積極的に授業に取り組む姿勢 2. 授業姿勢 30 % 価 基 修了試験 3. テストその他 40 % 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検定・ 課外授業 実施予定・その他

建築・デザイン 学科 **コースを選択してください(DELで消去)**

2

年

科目名 ICT活用ⅡB 学期 後 期 科目区分 専門 授業方法 演習 単位数 非常勤 分類 必修 担当教員 1 企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする 学習目的 VRシステムを使用し新たなプレゼン技法を身に付ける 授業内容 学習目標 グループ作成をとおして課題解決力、コミュニケーションカ向上を目指す 使用テキスト unityでつくる建築VR入門 週数 授業計画 オブジェクトを作成する 単色のマテリアルを作成する 画像からマテリアルを作成する ガラスのマテリアルを作成する 鏡のマテリアルを作成する オブジェクトを作成するを作成する ポイントライトを作成する スポットライトを作成する エリアライトを作成する 発光するオブジェクトを作成する 11 ライトプローブを使用する 12 グループ作成 13 グループ作成 14 グループ作成 15 作成物発表 評価項目/割合 評価内容 課題レポートの提出 1. 課 題 30 % 積極的に授業に取り組む姿勢 2. 授業姿勢 価 30 % 基 修了試験 3. テストその他 40 % 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検定・ 課外授業 実施予定・その他